

平成30年度 全国学力・学習状況調査 結果分析資料



群馬県教育委員会
平成30年9月

目次

I 調査結果概況	
1 調査対象	P 1
2 教科に関する調査	P 1
3 質問紙による調査	P 3
4 県教育委員会の取組	P 4
II 各教科における授業のポイント	
1 小学校	P 5
(1) 国語	
(2) 算数	
(3) 理科	
2 中学校	P 32
(1) 国語	
(2) 数学	
(3) 理科	
III 質問紙による調査の概況	
1 児童生徒質問紙調査（抜粋）	P 55
2 学校質問紙調査（抜粋）	P 57
3 学習に関する状況	P 59
(1) 算数・数学	
(2) 理科	
(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	
(4) 家庭学習	
4 児童生徒の自己肯定感等に関する状況	P 66
5 群馬県の課題に関する状況	P 68
(1) 小中連携	
(2) 教員の研修	
(3) 地域や社会と学校の連携・協働	
6 第2期教育振興基本計画に係る項目	P 72

I 調查結果概況

I 調査結果概況

1 調査対象

平成30年4月17日実施

	対象学校数	児童生徒数
小学校（第6学年）	311校	約16,800人
中学校（第3学年）	168校	約16,900人

2 教科に関する調査

(1) 平均正答率

<小学校>

教科		年度	平均正答率 (%)	
			30年度	
国語	A知識	本県	71	
		全国	70.7	
	B活用	本県	54	
		全国	54.7	
算数	A知識	本県	62	
		全国	63.5	
	B活用	本県	50	
		全国	51.5	
理科	知識・活用	本県	61	
		全国	60.3	

平均正答率 (%)		
29年度	28年度	27年度
75	72	71.1
74.8	73	70.0
57	57	64.2
57.5	58	65.4
78	78	74.9
78.6	78	75.2
44	46	43.2
45.9	47	45.0
		61.7
		60.8

<中学校>

教科		年度	平均正答率 (%)	
			30年度	
国語	A知識	本県	77	
		全国	76.1	
	B活用	本県	63	
		全国	61.2	
数学	A知識	本県	67	
		全国	66.1	
	B活用	本県	48	
		全国	46.9	
理科	知識・活用	本県	69	
		全国	66.1	

平均正答率 (%)		
29年度	28年度	27年度
79	77	77.0
77.4	76	75.8
75	69	67.4
72.2	67	65.8
65	63	65.3
64.6	62	64.4
50	46	42.6
48.1	44	41.6
		57.0
		53.0

※各年度の平均正答率は、文部科学省が公表した数値で示している。

【全体的な傾向】

<小学校>

○国語の「知識」「活用」及び理科は、全国平均と同程度であった。

○算数の「知識」「活用」は、全国平均を下回った。

<中学校>

○全ての教科に関する調査において、全国平均を上回った。

【現中学校3年生の小学校6年生当時(平成27年度)の調査結果との比較から】

○小学校6年当時と比較し、今回の調査では全体的に学力が伸びている様子が見える。

(2) 全国の平均正答率と比較して特徴の見られる設問

<小学校>

	正答率(全国比較)	設問	問題の趣旨・内容
国語A	74.5%(+1.1)	A 8ア	・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
	72.5%(-1.5)	A 4	・登場人物の心情について、情景描写を基に捉える
国語B	52.3%(+0.0)	B 3二	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく
	47.8%(-1.6)	B 3一	・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む
算数A	58.0%(+2.4)	A 7(2)	・直径の長さと同周の長さの関係について理解している
	81.0%(-6.8)	A 4(1)	・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している
算数B	74.5%(+2.8)	B 1(1)	・合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる
	67.0%(-3.5)	B 2(1)	・示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる
理科	44.6%(+2.7)	3(4)	・太陽の一日の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適応できる
	54.1%(-1.3)	2(2)	・土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる

<中学校>

	正答率(全国比較)	設問	問題の趣旨・内容
国語A	71.1%(+8.1)	A 8六2	・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む
	21.0%(-1.3)	A 8四2	・目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く
国語B	58.9%(+4.3)	B 2三	・全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す
	46.5%(+0.6)	B 1一	・文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える
数学A	78.8%(+9.8)	A 1(2)	・絶対値の意味を理解している
	64.5%(-3.9)	A 14(1)	・最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解している
数学B	45.3%(+3.0)	B 4(3)	・付加された条件の下で、新たな事柄を見いだし、説明することができる
	15.7%(-0.3)	B 5(1)	・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる
理科	65.0%(+7.8)	5(1)	・神経系の働きについての知識を身に付けている
	76.7%(+0.2) 47.1%(+0.2)	2(2)	・濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘できる ・濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる

3 質問紙による調査（全国と比較して特徴の見られるもの） ※【 】全国平均との差

(1) 児童生徒質問紙

<小学校>

- ・今住んでいる地域の行事に参加している。【小+7.3】（中+0.8）
- ・家で、学校の授業の予習・復習をしている。【小+3.2】（中+0.5）
- ・自分にはよいところがあると思う。【小+3.1】（中+3.5）
- ・5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった。【小-1.5】（中+1.1）
- ・今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題において、最後まで努力した。【小-1.0】（中+3.2）

<中学校>

- ・理科の授業において、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。【中+8.3】（小+0.5）
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。【中+5.4】（小+3.3）
- ・将来の夢や目標を持っている。【中+3.7】（小+1.5）
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。【中-0.4】（小+1.6）
- ・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。【中-0.2】（小+1.1）

(2) 学校質問紙

<小学校>

- ・算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施した。【小+36.0】
- ・算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った。【小+12.0】（中+6.2）
- ・理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った。【小+12.0】（中+1.9）

<中学校>

- ・前年度に、数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った。【中+14.4】（小+2.9）
- ・前年度に、数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした。【中+12.7】（小+0.8）
- ・家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた。【中+9.6】（小-0.2）
- ・理科の指導に関して、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行った。【中+9.2】（小+1.9）

<小中学校共通>

- ・前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。【小-26.8、中-17.6】
- ・個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している。【小-19.6】
- ・教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している。【中-12.7】
- ・地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った。【小-1.4、中-11.3】

4 県教育委員会の取組

- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導の改善・充実に向けた説明会

期 日：8月30日（木）

内 容：希望する小学校教諭を対象に、国語、算数、理科の調査結果から明らかになった県の課題及び課題を踏まえた指導の改善・充実等について、分析委員会で作成した結果分析資料を基に説明する。

- 校内研修在り方フォーラム

期 日：小学校 12月5日（水）

中学校 11月9日（金）

内 容：教員の資質・能力の向上を図るための校内研修を実施する一助となるよう、事例発表等を行う。

<参考資料>

- 平成30年度学校教育の指針

検索：群馬県 学校教育の指針 解説

(URL) http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/index.php?page_id=49

- キャリア教育ガイドブック「ぐんまのキャリア教育」

検索：群馬県 キャリア教育ガイドブック

(URL) http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1144

- 「不登校児童生徒の自立へ向けて」

検索：群馬県 不登校対策資料

(URL) www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1434

- 「はじめよう！道徳科」

検索：群馬県 道徳教育

(URL) http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1374

Ⅱ 各教科における指導のポイント

Ⅱ 各教科における指導のポイント

〈小学校〉

問題別調査結果 [小学校国語A]

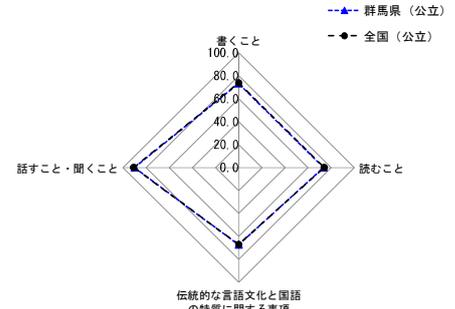
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県（公立）	全国（公立）	対象児童数	群馬県（公立）	全国（公立）
	311	19,386		16,785	1,030,025

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）	
			群馬県（公立）	全国（公立）
全体				
		12	71	70.7
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	90.1	90.8
	書くこと	1	73.2	73.8
	読むこと	2	73.4	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	67.3	67.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	1	90.1	90.8
	書く能力	1	73.2	73.8
	読む能力	2	73.4	74.0
	言語についての知識・理解・技能	8	67.3	67.0
問題形式	選択式	11	73.8	73.9
	短答式	1	36.5	35.5
	記述式	0		

〈学習指導要領の領域等の平均正答率の状況〉



※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率（%）			無解答率（%）			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	群馬県（公立）	全国（公立）	全国比較	群馬県（公立）	全国（公立）
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す	3・4イ								○			90.1	90.8	-0.7	0.0	0.1	-0.1
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える	5・6イ								○			73.2	73.8	-0.6	0.2	0.3	-0.1
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を捉える	3・4イ									○		74.3	73.9	0.4	0.1	0.2	-0.1
4	『くらやみの物語』を読んだ心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情について、情景描写を基に捉える	5・6イ									○		72.5	74.0	-1.5	0.2	0.3	-0.1
5	【春休みの出来事の一部】の中で、----部と----部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く	3・4イ(キ)									○		36.5	35.5	1.0	3.3	3.9	-0.6
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）	日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う	3・4イ(ク)									○	○	90.9	90.4	0.5	1.3	1.4	-0.1
7	【話を聞いている様子の一部】の【ア】、【イ】に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う	5・6イ(ク)									○	○	55.2	56.0	-0.8	2.5	2.7	-0.2
8ア	文の中で漢字を使う（せい造）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6イ(ク)									○	○	74.5	73.4	1.1	4.6	5.2	-0.6
8イ	文の中で漢字を使う（せつ備）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6イ(ク)									○	○	81.9	82.2	-0.3	5.6	6.3	-0.7
8ウ	文の中で漢字を使う（しょう毒）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6イ(ク)									○	○	83.3	82.2	1.1	5.9	6.6	-0.7
8エ	文の中で漢字を使う（かん理）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6イ(ク)									○	○	64.3	65.0	-0.7	6.6	7.4	-0.8
8オ	文の中で漢字を使う（せつ極的）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6イ(ク)									○	○	51.9	51.4	0.5	7.0	7.7	-0.7

■ 全国との差-3以上
■ 全国との差+3以上
■ 全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
6 問	6 問	12 問

課題となる設問

【小学校国語 A】

趣旨	登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることができるかどうかをみる
----	-------------------------------------

4

中西さんは、武鹿悦子さんが書いた『くらやみの物語』を読み、心に残ったことについて説明することにしました。次の「物語の一部」をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【物語の一部】

■物語のこれまでのあらすじ
 五年生の夏休みの終わりに、コウタは、カクロウをふくめた塾の仲間と花火大会を計画していた。お金を出し合って買った花火は、コウタの家の物置に入れていた。しかし、その花火は計画の当日にコウタの母親に見つかり、水につけられてしまう。コウタは、そのことをカクロウに伝え、カクロウと自転車仲間のもとに向かい、報告をする。そこでコウタは仲間の一人に厳しくせめられてしまう。

「気に入るなよ。」
 と、カクロウはいった。
 「のれよ。」
 コウタは、くびをふった。
 そうか、と、いって、カクロウは、気がかりそうにふり向きながら遠ざかっていった。
 （家になんか帰るもんか。）
 コウタは、歩きだした。
 （……だれもないところへ行くんだ。）
 家なみが切れて山道にかかると、カナカナと、草むらの虫の音が、はりさけそうにひびいてきた。
 草がそよぎをため、草の穂波の向うに沈む夕日が、あたり一面を火の海にしている。
 正面から夕日にむかうとき、コウタは、目をほそめ小手をかざして歩いた。
 セミ採りに一、二度きたことのある小さいトンネルが見えてくると、コウタは、かけこんでいって思いつきりの声でさげんだ。

（武鹿悦子『くらやみの物語』による。）

- （問い） 中西さんは、特に心に残った文として——部を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 登場人物の行動から、コウタのあわてている様子が伝わってくるから。
 - 2 景色や様子を表す表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。
 - 3 音を表す表現から、山の静けさと海の激しさが伝わってくるから。
 - 4 登場人物の会話から、おたがいを思う気持ちが変わってくるから。

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	2.7	72.5	18.1	6.4					0.0	0.2
		2.5	74.0	17.3	5.8					0.0	0.3
1	1 と解答しているもの										
2	2 と解答しているもの										
3	3 と解答しているもの										
4	4 と解答しているもの										
99	上記以外の解答										
0	無解答										

【小学校国語B】

趣旨	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができるかどうかをみる
----	-------------------------------------

一 山下さんは、「ノートの一部」の **A** について、もっとくわしく知りたいことがあったので、湯川博士が自分のことを書いた本である「自伝「旅人」の一部」をさらに読みました。山下さんはどのようなことが知りたくて次の文章を読みましたか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【自伝「旅人」の一部】

先生は端然と、はかまをはいてすわっていた。私たちが座敷に出ると、いつも先生の方から先にお辞儀をされる。男の兄弟たちは、だいぶ、へきえきしたらしい。何時とはなく、次第にけいこをやめてしまった。が、私だけは長くつづいた。

「あなたが一番上手です」という先生の言葉に、おだてられた気味もないとはいえないが、私一流の辛抱つよさが、いったん始めたことをなかなか捨てさせなかったということもあった。

(湯川秀樹「旅人 ある物理学者の回想」による)

- 1 湯川博士が自分自身をどのように思っていたのか。
- 2 湯川博士がどのような書き方を身につけたのか。
- 3 湯川博士がどのような研究に取り組んでいたのか。
- 4 湯川博士の兄弟姉妹はどのような様子だったのか。

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
3-1	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する	47.8	16.2	13.6	19.7						0.1	2.5
		49.4	14.9	12.5	18.9						0.1	3.2
1	◎ 1 と解答しているもの											
2	2 と解答しているもの											
3	3 と解答しているもの											
4	4 と解答しているもの											
99	上記以外の解答											
0	無解答											

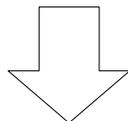
【小学校国語科】指導のポイント

—本県の課題—

- 叙述を基に、登場人物の気持ちや段落相互の関係を考えること。
- 目的に応じて複数の情報を結び付け、分かりやすく説明すること。

言葉にこだわる

- 意識的に言葉に着目して、「考え、表現させる授業」を行きましょう。



- ・ 場面や状況などに応じて、言葉に着目して、聞いたり読んだりさせましょう。
- ・ 相手や目的などに応じて、適切な言葉を使って、話したり書いたりさせましょう。

- 「何となく～」「よく分からないけど～」という児童の言葉をなくしていくことが国語の授業で大切です。「なぜそう思うの?」「どの文からそれが分かるの?」「〇〇の意味は?」の質問を繰り返しましょう。
- 既習事項を想起させたり、言葉の意味に着目させたり、条件に応じて書かせたりするなどの工夫をして、表現する力を高めましょう。
- 主語と述語が適切な関係となっていることが、伝えたいことを相手に正確に伝える上で重要であることに気付かせ、書いた文章を読み返す習慣を付けさせるようにしましょう。
- 関連する言葉を意識的に提示して、児童の語彙を増やしましょう。



指導例①（小学校：文学的な文章）

【言葉の意味に着目して、登場人物の気持ちを考える】

小学校4年『ごんぎつね』（10／12時間目）

この授業は、「引き合わない」という言葉に着目するとともに、条件に合わせて書くことで、登場人物の気持ちを深く考えさせることをねらいとしています。

～授業の概要～

- ① 今までの場面を想起させながら、「四・五の場面」を読みます。
- ② ごんの行動、兵十と加助の会話をまとめます。
- ③ 二人の会話を聞いた後のごんの言葉を確認します。
- ④ 「引き合わない」の意味を調べ、ここでの意味や表すことを確認します。

（ごんの言葉）

- ・へえ、こいつはつまらないなあ。
- ・おれは、引き合わない、もうけにならない、割に合わない、（意味）

（二人の話）

加助

- ・神様のしわざだぞ。
- ・たった一人になつたおまえを、あわれに思つたんだ。
- ・毎日、神様にお礼を言う方がいいよ。

兵十

- ・えつ。
- ・そうかなあ。

ごん

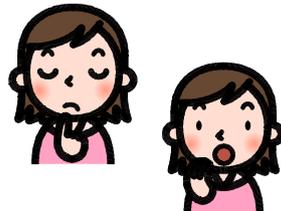
- ・うん。

↓ 兵十をずっと待っていた。兵十のかげぼうしをふみふみ行きました。↓ かげをふむほど近づいている



「引き合わない」って、どんな意味かな？
何と何が引き合わないのかな？
どうして引き合わないのかな？

兵十がごんのつぐないに気付いていないから、引き合わないと思っている。



ごんが「くりや松たけを持っていくこと」と兵十が「神様にお礼を言うこと」が、引き合わないと思う。
お礼は、自分に言ってほしいんだよ。



ごんは、自分がくりや松たけを持っていっていることを、兵十に気付いてほしいんだ！

- ⑤ 兵十と加助の話聞いていたごんの気持ちを、ごんの言葉を基に捉えさせます。



この時のごんはどんな気持ちなのかな？
想像して書いてみよう！
引き合わない理由と「気持ちを表す言葉」
を入れて書こう。
「気持ちを表す言葉」には、どんな言葉があるかな。



書く際の条件を与えることで、何を書けばよいかを明確にさせることが大切です。

気持ちを表す言葉

うれしい・悲しい・苦しい・こわい・さびしい
はづかしい・くやしい・うっとり・うきうき・
がっかり・しぶしぶ……



実際に書く場面で、「気持ちを表す言葉」など、語句のまとまりを提示するのも効果的です。

⑥ 条件に合っている文章になっているかを確認します。

「引き合わない」理由は、同じことを書いた人が多いね。
でも、ごんの気持ちでは、「悲しい」「さびしい」「くやしい」
「頭にくる」など、いろいろな気持ちが出てきたね。なぜだろう？



⑦ 同じ言葉を選んだ児童たちの交流、異なる言葉を選んだ児童たちの交流をそれぞれ行い、自分の考えを明確にします。



ごんは、自分がくりや松たけを持っていて、兵十に気付いてもらえないから、悲しいと思う。

せっかく、くりや松たけを持っていったのに、兵十は気付かないなんて、頭にくるよ。



兵十と加助の話を聞く前のごんの行動にも、注目してみるといいね。



交流の場がそれぞれの考えを発表するだけにならないように、児童の考えを広げたり深めたりする発問の工夫が大切です。

兵十をずっと待っていたり、かけをふむぐらい近づいたりしたのは、話を聞きたいだけではなく、兵十と仲良くなりたいたい気持ちもあったからだと思う。



そうか！兵十と仲良くなりたいたい気持ちもあるんだ。
三の場面に「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十」と書いてあったよね。同じひとりぼっちだから、きっと友達になりたいんだ。

⑧ 本時のまとめ・振り返りをします。

言葉の意味に注目することで、登場人物の気持ちが詳しくわかりました。



振り返りが授業の感想で終わることがないように、この時の間で何を学んだのか、具体的に書けるよう、学んだことの自覚につなげていくことが大切です。



登場人物の気持ちを考えるときには、一つの言葉だけでなく、手がかりとなる他の言葉や行動にも注目することが大切だと分かりました。

「ごんぎつね」 [10/12 時間目]

◎登場人物の気持ちの変化をとらえて、感じたことを話し合おう！

めあて

○言葉の意味に注目し、兵十と加助の話を聞いた時のごんの気持ちを想像しよう！

② 気持ちを表す言葉

① 理由

① 条件

② 「引き合わない」理由を書きましよう。

自分にはお札を言わないで、神様にお札を言うのでは、くりや松たけを持っていったのに、つり合わないなあ。兵十に気付いてもらえず、悲しいな。

（ごんの言葉）

・へえ、こいつはつまらないな。
（おれは）引き合わないなあ。
（意味）つり合わない、割に合わない、もうけにならない

（二人の話）

加助
・神様のしわざだぞ。
・たった一人になつたおまえをあわれに思ったんだ。
毎日、神様にお札を言うがいいよ。

兵十
・えっ。
・そうかなあ。
・うん。

（ごんの行動）

・念仏がすむまで、いどのそばにしゃがんでいた。
↓ 兵十をずっと待っていた
・兵十のかけぼうしをふみふみ行きました。
↓ かけをふむほど近づいている

指導例②（小学校：文学的な文章）

【情景描写と登場人物の心情とのかかわりやその効果を考える】

（小学校5年『大造じいさんとがん』5／7時間目）

この授業は、既習内容と結びつけて理解を深めさせたり、比較の対象を示して思考を促したりすることを通して、情景描写の効果を的確に捉えさせることをねらいとしています。

～授業の概要～

① 全文を読んで、印象に残った表現をカードに書き出します。

② 出し合った表現を

- 〈心情を表す表現〉
- 〈動きに関する表現〉
- 〈情景を描いた表現〉

に分類します。

あかつきの光が、小屋の中に入すが
がしく流れこんできました。

東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ま
した。

（情景を描いた表現）

白い雲の辺りから、何か一直線に落
ちてきました。

（動きに関する表現）

思わず感嘆の声をもらしてしまいま
した。

（心情を表す表現）

③ 情景描写について確認し、本文中の内容について考えます。



「東の空が真っ赤に燃えて…」ってどんな様子かな？
だれのどんな心情とひびき合っているのかな？



既習内容を想起させることで、理解を確かなものにさせます。

「スイミー」を思い出してごらん。たくさん兄弟が大きな魚に食べられて一人ぼっちになった時、海はどんな色だった？その時のスイミーの気持ちは？



東の空から太陽が出て、空が真っ赤に燃えているように見えるんじゃないかな。

大造じいさんの気持ちも燃えているってことかな。



残雪との戦いに向かって、大造じいさんの熱く燃える闘志が表現されているのね。

④ 情景描写の効果について考えます。

情景描写の一文があるとないのでは、どのような違いがあるのかな？



比較の対象を具体的に示すことで思考を促すとともに、児童自らが新たな問いをもてるようにします。



この文がなくても、内容は変わらないよ。



なるほど！じゃあ、ほかの文も同じなのかな。たしかめてみたいな。

あった方がいいよ。あった方が大造じいさんの迫力が伝わると思う。まるで映画の背景とかBGMみたいな感じがする。



- ⑤ 前時までにまとめた大造じいさんの心情の移り変わりの表に、②で分類した情景描写を重ね、気付いたことを交流します。



ほかの文も、大造じいさんの気持ちと合っているような気がする。

本当だ。大造じいさんの気持ちと、情景描写の表している「雰囲気」や「色」が合ってるね。情景描写があると、イメージが浮かびやすいね。



- ⑥ 本時の授業をまとめます。



たくさんの考えが出てきたね。みんなの考えを参考に、情景描写の役割についてまとめてみよう。



交流活動等で考えが出された後、情景描写の役割について、全体でまとめることが大切です。

※授業を振り返り、学んだことを自覚できるようにします。

情景描写の文があることで、物語が色鮮やかになったり、登場人物の気持ちが伝わりやすくなるんだなあと思いました。とても大きな役割をしていることがわかりました。

大造じいさんの心情と情景描写の文がつながっているとわかってびっくりしました。ほかの物語でもそういう文が使われているのかを考えながら読んでみたいです。

～板書計画～

まとめ	4	3	2	1	場面 残雪の様子や行動	情景描写 ：人物の心情とひびき合うように描かれた風景や場面の様子	めあて ◎印象的な表現を抜き出し、物語の中で果たしている役割を考えよう。	大造じいさんとがん
		・ 仲間のため ・ プサと戦う ・ ぐったり ・ じいさんを正面からにらみつける。	・ 急角度に方 えた。	・ 仲間を指導した。	・ 油断なく気を配っている。			
	・ 一直線に空へ	・ 東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。	・ うまくいくぞ ・ いやいよ戦闘開始だ	・ 案の定	・ りこうなやつ ・ いまいましい ・ 今度はいまうまくいきそう			
	・ 晴れ晴れとした	・ 心を打たれる ・ ただの鳥に対しているような気がしない	・ あかつきの光が、小屋の中に入りがしく流れこんできました。	・ 秋の日は美しくかがやいていました。	・ 大造じいさんの心情			
	・ らんまんときいたスモモの花が、その羽にふられて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。							

【叙述を基に段落相互の関係を考える】

（小学校4年『花を見つける手がかり』 7／9時間目）

この授業は、キーワードに着目し、それぞれの実験についてまとめた一覧表を使って、実験と実験の関係について考えさせることをねらいとしています。

～授業の概要～

- ① 問いの文からキーワードを確認します。

「いったい、もんしろちょうは、何を手がかりにして、花を見つけるのでしょうか。花の色でしょうか。形でしょうか。それとも、においでしょうか。」

もんしろちょうが花を見つけるために、筆者は、手がかりになりそうなものとしてどんなもの挙げていますか？



※児童の発言から、キーワードを引き出し、このあとの一覧表の項目として活用します。

- ② 「色」、「形」、「におい」というキーワードを使って、3つの実験から何がわかるか、一覧表にまとめます。



実験①～③の結果から、もんしろちょうが、花を見つける手がかりになる可能性のあるものに○を、可能性がないものに×を一覧表に記入しましょう。

※一覧表を見て気付いたことを児童に発言させ、読み取りを深めていきます。



実験①だけだと、もんしろちょうは、「におい」にひかかれている可能性もあるな。

【花を見つける手がかりの可能性の表】

実験③	実験②	実験①	
○	○	○	色
×	○	○	形
×	×	○	におい

実験②は、造られた花なのだから、「におい」の可能性はなくなるよね。



表を見ると、実験するたびに、○の数が少なくなっているよ！



表のどの部分のことを述べているのかを確認します。児童の発言を次の発問につなげていくことが大切です。

確かにそうだね。表を見ると①は○が3つだけど、実験をするたびに一つずつ減っていることがわかるね。



③ 表を活用し、実験の関係性を考えることによって、文章の構造を理解します。



筆者は、なぜ実験を3つも続けたのかな。



「続けた」という言葉を使うことで、段落と段落の関係性を児童に意識させます。「なぜ」「どうして」を大切にします。

たくさん実験があった方がいいよ。一つの実験よりたくさんの方が、説得力があるよ。



3つの実験がそろわないと、筆者の言いたいことが伝わらないよ。

数が多ければ、納得できるのかな？
①②③の実験はこの順番で書かないとだめなのかな？



④ 交流の時間で、互いの考えを深めます。



3つの実験を適切な順番で並べることによって、可能性を絞り、筆者の意見に説得力をもたせる効果があると思います。

⑤ 本時の学習をまとめます。

今日の学習を通して、段落と段落の関係で学んだことを書いてみよう。



～ 板書計画～

	③	②	①	
	○	○	○	色
	×	○	○	形
	×	×	○	におい

まとめ

三つの実験を適切な順番で並べることによって、自分の意見に説得力をもたせることができる。

- たくさん実験があるといいから。
- 一つの実験だけでは、答えが不十分だから。
- 三つの実験がそろわないと筆者の言いたいことが伝わらないから。

めあて

花を見つける手がかり

筆者は、なぜ実験を三つも続けたのでしょうか。

〈小学校〉

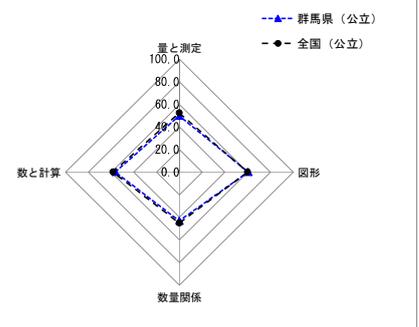
問題別調査結果 [小学校算数B]

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県(公立)	全国(公立)	対象児童数	群馬県(公立)	全国(公立)
	310	19,380		16,778	1,029,847
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体			群馬県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と計算		6	56.5	58.4
	量と測定		4	49.9	52.4
	図形		2	60.5	59.9
	数量関係		5	43.2	45.1
評価の観点	算数への関心・意欲・態度		0		
	数学的な考え方		9	47.3	49.2
	数量や図形についての技能		0		
	数量や図形についての知識・理解		1	74.5	71.7
問題形式	選択式		3	53.9	54.0
	短答式		2	64.7	66.6
	記述式		5	41.9	43.9

〈学習指導要領の領域の平均正答率の状況〉



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			数と計算	量と測定	図形	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較	群馬県(公立)	全国(公立)
1(1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から、条件に合う図形を見いだすことができる	35(1)イ 35(1)フ 46(1)イ 50(1)アイウ						○	○		74.5	71.7	2.8	0.2	0.3	-0.1
1(2)	一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360°になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く	図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が360°になっていることを記述できる	48(2)アイ	30(1)ア 46(1)イ 50(1)アイウ					○		○	46.5	48.2	-1.7	14.2	14.4	-0.2
2(1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く	示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる	1A(2)ア 2A(2)ア	3B(3)イ	2D(1)				○		○	67.0	70.5	-3.5	1.5	1.5	0.0
2(2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める	示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる	3A(2)イ 3A(3)イ	3B(3)アイ	3D(3)				○		○	45.7	47.9	-2.2	1.5	1.6	-0.1
3(1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる			3D(3)ア				○		○	18.7	20.7	-2.0	17.6	18.0	-0.4
3(2)	一つの手柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ	棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる			3D(3)ア 3D(4)				○		○	22.0	23.9	-1.9	0.8	1.1	-0.3
4(1)	「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す	示された考え方を解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる	2A(1)エ 2A(2)ウ 2A(3)ウ		4D(2)ア 4D(3)ア				○		○	62.5	62.7	-0.2	6.0	6.2	-0.2
4(2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	示された考え方を解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる	2A(2)ア 2A(3)ア 2A(3)ウ 4A(3)イ						○		○	58.0	59.5	-1.5	10.2	11.3	-1.1
5(1)	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く	折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる	2A(2)ア 2A(2)イ 2A(3)ア 2A(3)イ 4A(3)イ		2B(1)ア				○		○	40.6	43.2	-2.6	16.7	16.6	0.1
5(2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる	1A(1)イ 1A(1)フ 1A(2)ア 1A(2)イ 1A(3)イ 1A(3)フ						○		○	65.1	66.5	-1.4	8.5	8.3	0.2

全国との差-3以上
 全国との差+3以上
 全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
1問	9問	10問

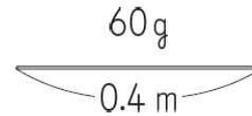
課題となる設問

【小学校算数A】

趣 旨	除法で表すことができる二つの数量の関係を理解しているかをみる問題
-----	----------------------------------

1

0.4 m の重さが 60g の針金^{はりかね}があります。
この針金について、次の問題に答えましょう。



- (1) 針金 0.2 m の重さは何 g ですか。また、針金 0.1 m の重さは何 g ですか。
それぞれ答えを書きましょう。

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
1 (1)	針金 0.2 m の重さと針金 0.1 m の重さを書く	57.9	0.0	13.0	0.3	9.1	0.0	0.5	0.0	17.2	1.8
		62.9	0.0	11.7	0.4	7.9	0.1	0.5	0.0	14.8	1.7
1	◎	0.2 m の重さ					0.1 m の重さ				
2		30 と解答					15 と解答しているもの				
3							7.5 と解答しているもの				
4		300 と解答					類型1, 類型2以外の解答				
5		12 と解答					無解答				
6		3 と解答					600 と解答しているもの				
7		300 と解答					6 と解答しているもの				
8		類型1から類型4, 類型6以外の解答					15 と解答しているもの				
99		無解答					59.7 と解答しているもの				
0		59.8 と解答					59.9 と解答しているもの				
		60.2 と解答					60.1 と解答しているもの				
		上記以外の解答					60.3 と解答しているもの				
		無解答									

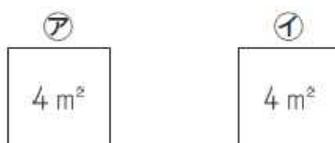
【小学校算数A】

趣 旨	異種の二つの量の関係として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解しているかをみる問題
-----	---

4

こみぐあいについて、次の問題に答えましょう。

- (1) ㊶と㊷の2つのシートがあります。㊶と㊷のシートの面積は、同じです。



次の表は、シートの上にはわっている人数とシートの面積を表しています。

すわっている人数とシートの面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
㊶	6	4
㊷	9	4

上の表から、こみぐあいについてどのようなことがわかりますか。

下の 1 から 3 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ㊶のほうがこんでいる。
- 2 ㊷のほうがこんでいる。
- 3 どちらもこみぐあいは同じである。

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
4 (1)	面積がそろっている㊶と㊷の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ	9.4	81.0	1.9							7.3	0.4
		8.3	87.8	1.7							1.6	0.6
1	1 と解答しているもの											
2	2 と解答しているもの											
3	3 と解答しているもの											
99	上記以外の解答											
0	無解答											

【小学校算数A】

趣 旨	百分率を求めることができるかどうかをみる問題
-----	------------------------

8

ある会場に子どもたちが集まりました。

集まった子どもたち 200 人のうち 80 人が小学生でした。

小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。

下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.4 %

2 2.5 %

3 40 %

4 80 %

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ	9.0	29.2	<u>51.4</u>	6.0					0.2	4.2
		8.8	27.8	<u>52.9</u>	5.7					0.2	4.6
1	1 と解答しているもの										
2	2 と解答しているもの										
3	3 と解答しているもの										
4	4 と解答しているもの										
99	上記以外の解答										
0	無解答										

【小学校算数B】

趣 旨 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる問題

2

たくみさんたちは、「1年生と仲よくなる会」で玉入れゲームをすることにし、その計画を立てています。

まず、玉入れゲームの説明をまとめました。

玉入れゲームの説明

- ・ 同じ人数の2チームに分かれる。
- ・ 合図とともに、それぞれのかごに玉を投げ入れる。
- ・ 落ちている玉は何回拾って投げてもよい。
- ・ 玉入れゲームは2回行い、入った玉の個数を1回ごとに数え、その合計の数が多いほうが勝ち。



次に、たくみさんたちは、下のような計画を立てました。

【たくみさんたちの計画】

全体で使える時間				
ルールの説明	玉入れゲーム 1回目	中休み	玉入れゲーム 2回目	結果発表と片付け ^{かたづ}
・ 全体で使える時間は20分。				
・ 玉入れゲームを行う回数は2回。				
・ 1回の玉入れゲームの時間は3分。				
・ 中休みの時間は2分。				
・ 結果発表と片付け ^{かたづ} の時間は、あわせて7分。				

(1) 【たくみさんたちの計画】の「ルールの説明」に使える時間は、何分ですか。答えを書きましょう。

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
2 (1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何かを書く	67.0	3.0	1.4	0.2	1.3	8.1	10.3	0.8	8.7	1.5
		70.5	2.8	1.2	0.2	1.3	7.1	8.8	0.5	8.2	1.5
1	◎ 5 と解答しているもの										
2	8 と解答しているもの										
3	7 と解答しているもの										
4	12 と解答しているもの										
5	15 と解答しているもの										
6	20 と解答しているもの										
	3 と解答しているもの										
7	2 と解答しているもの										
	6 と解答しているもの										
8	34 と解答しているもの										
99	上記以外の解答										
0	無解答										

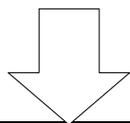
【小学校算数科】指導のポイント

—本県の課題—

- 除法で表すことができる問題場面において二つの数量の関係を理解すること。
- 除法の問題場面において、二つの数量の関係を数直線に表すこと。

問題場면을味わう

- 問題場面から分かることを児童の視点で整理・分析させましょう。



- ・ 日常の生活場面やこれまでの学習内容、身に付けた数学的な見方・考え方をもとに、児童が問題場면을把握する場を大切にしましょう。
- ・ 問題場面の把握を通して、数直線や図のよさを確認したり、思考を整理したりさせましょう。また、それをもとに演算決定の根拠を説明できるようにしましょう。

- 「問題から分かることは何ですか?」「何を求めればよいのですか?」「何算になりますか?」という発問までに、児童が問題からどのような問いをもったり、見方をしたりするのかを確認することはとても大切です。問題場面から分かることや考えることを教室全体で確認し実感を伴った授業になるように工夫しましょう。
- 「あわせてとかいてあるので足し算です。」「何倍と書いてあるのでかけ算です。」など、問題文の表現だけに着目して演算決定をするのではなく、数量の関係を適切に数直線に表現したものを利用して、児童に演算の決定をさせましょう。



指導例① 小学校5年「分数のわり算」

【問題】

2 dLで $4/5\text{m}^2$ ぬれるペンキがあります。
1 dLでは、何 m^2 ぬれるでしょうか？

【問題とは】→解答を要する問いかけ。

(例)「〇〇でしょうか？」
「〇〇を求めなさい。」 など

【問題場面とは】→【問題】に解答できるための条件の設定や状態等のこと。



【問題場面】

2dLで $4/5\text{m}^2$ ぬれるペンキがあります。



このことから、どのようなことがわかりますか。

$4/5\text{m}^2$ は 1m^2 より小さいと思います。



図で表すと  となります。



1m^2 ぬるために必要なペンキの量は？

2dLよりは多いよね。



ペンキの量が2倍になると、塗れる面積も2倍になります。

ペンキを3倍にしたら…。

ペンキを半分にしたら…。



【問題場面】
を【問題】へ



1dLでは、何 m^2 ぬれますか？

ペンキが半分だから塗れる面積も半分になるよ。



図を使って考えてみよう！



(本時のめあて)

ペンキが半分になるとき、何 m^2 ぬれるだろうか？図を使って考えてみよう。

★指導のポイント★

- ・児童が、問題場面から考えることを児童の言葉で確認しましょう。
- ・児童とのやりとりの中で、数学的な表現を丁寧に扱きましょう。
- ・問題場面を児童と考えることで、学習の方向性が明確になり、本時の学習内容が具体的になります。また、学習内容に沿った本時の「めあて」が掲示されることで、児童が主体的に学ぶ原動力になります。

指導例② 「6年間を見通した図の指導例」(参照：はばプラ 実践の手引き P36, 37)

減法
(1~3年)

【1年】ドット図

〈問題〉
お菓子が8個あります。
3個食べました。
残りは何個でしょう。

〈式〉 $8 - 3$

〈図〉

【2年】テープ図

〈問題〉
お菓子が8個あります。
何個か食べたので、残りは3個になりました。
何個食べたでしょう。

〈式〉 $8 - 3$

〈図〉

【3年】線分図

〈問題〉
お菓子が8個あります。
何個か食べたので、残りは3個になりました。
何個食べたでしょう。

〈式〉 $8 - 3$

〈図〉

★指導のポイント★

- ・数量の関係に着目し計算の意味を理解できるように、表現した絵や図などを式と関連付けたり、数ブロックを用いた操作活動と関連付けたりさせましょう。

分離量を中心に扱う1年生は、ドット図が分かりやすいね。
連続量を扱ったり、加法と減法の相互関係を考えたりする2年生は、テープ図が分かりやすいね。
数直線図はテープ図をさらに簡単に表したものだね。

★指導のポイント★

- ・テープ図や数直線図に必要な言葉や数、□(求めるもの)をかかせて、式を考えさせましょう。

□を用いると、加法と減法のどちらの式でも表現することができますね。

問題場面では、減法の表現であったとしても加法を用いて計算する場合があります。
特に、2年生で問題場面で表されている状況をテープ図で適切に表すことができるように指導しましょう。
(新学習指導要領解説p111を参照)
「増える」「あわせる」「減る」「帰る」など言葉だけ演算を決定するのではなく、図と関連付けて加法と減法が逆演算であることを考えられるようにしましょう。

新学習指導要領解説算数編p111より抜粋

(工) 加法と減法の相互関係

三つの数量A, B, Cについて、例えば、次の図のような関係にあるとき、AとBが分かっているとCを求める場合が加法で、 $A + B = C$ や $B + A = C$ となる。

A (男の子の人数)

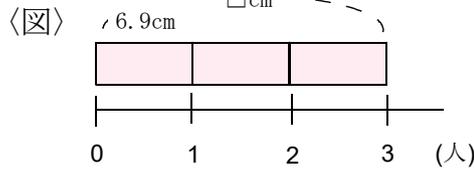
B (女の子の人数)

C (全体の人数)

また、CとA又はBのいずれか一方が分かっていると、B又はAを求める場合が減法で $C - A = B$ や $C - B = A$ となる。

【3・4年】テープ数直線図

〈式〉 6.9×3



〈問題〉

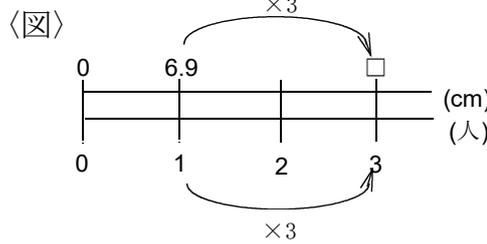
6.9 cmのテープから1人分のリボンを作ることができます。3人分のリボンを作るには何cmのテープが必要ですか。

★指導のポイント★

- ・二つの数量の単位が違うことに気付かせ、テープ図や数直線など二つの図を用いる必要感をもたせましょう。
- ・演算決定（立式）の根拠を図から考えさせましょう。

【5・6年】数直線図

〈式〉 6.9×3

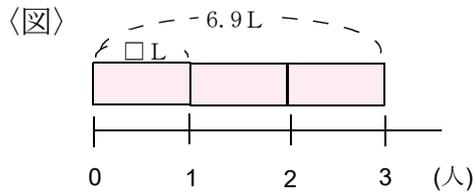


3, 4年生では、二つの数量を数直線だけで表さないのは、テープ図が1つ分の大きさや全体の大きさを視覚的に捉え易いからだね。



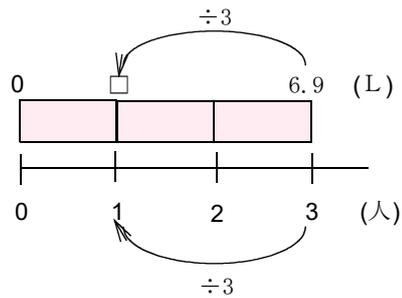
【3・4年】テープ数直線図

〈式〉 $6.9 \div 3$



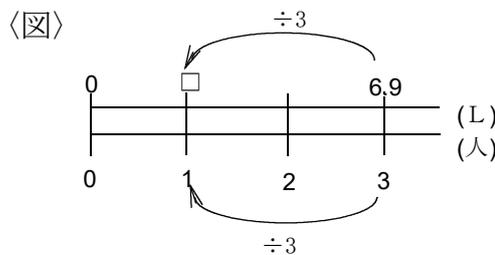
〈問題〉

6.9 Lのジュースを3人で分けます。1人分は何Lですか。



【5・6年】数直線図

〈式〉 $6.9 \div 3$



★指導のポイント★

- ・除法の学習では、基準にする大きさを図で視覚的に表し、二つの数量の関係を捉えさせましょう。

〈小学校〉

問題別調査結果 [小学校理科]

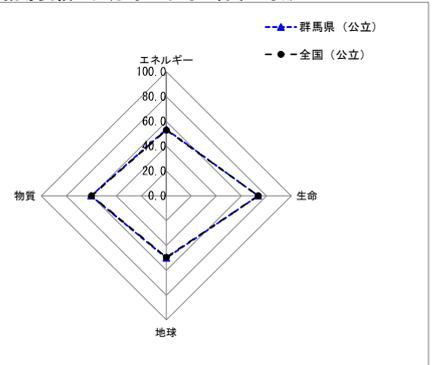
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県(公立)	全国(公立)	対象児童数	群馬県(公立)	全国(公立)
	310	19,278		16,783	1,029,828
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体		16	61	60.3
枠組み	主として「知識」に関する問題		3	79.0	78.0
	主として「活用」に関する問題		13	56.0	56.2
学習指導要領の区分等	A区分	物質	4	60.2	59.8
		エネルギー	4	53.6	53.1
	B区分	生命	4	73.5	73.6
		地球	6	50.1	49.5
評価の観点	自然現象への関心・意欲・態度		1	82.7	82.1
	科学的な思考・表現		12	54.0	54.1
	観察・実験の技能		1	73.0	71.1
	自然現象についての知識・理解		2	82.6	81.5
問題形式	選択式		13	64.2	63.8
	短答式		1	79.1	79.4
	記述式		2	27.6	28.0

※一つの問題が複数の区分に該当する場合は、それぞれの区分について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

〈学習指導要領の区分等の平均正答率の状況〉



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み	学習指導要領の区分等	評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
							群馬県(公立)		全国(公立)	群馬県(公立)		全国(公立)
							A区分	B区分	全国比較	群馬県(公立)	全国比較	
1(1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる	○		○		82.7	82.1	0.6	0.0	0.0	0.0
1(2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる	○		○		75.1	76.2	-1.1	0.1	0.1	0.0
1(3)	腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を選ぶ言葉を書く	骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している	○		○	○	79.1	79.4	-0.3	3.3	3.8	-0.5
1(4)	人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ	人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる	○		○	○	57.0	56.6	0.4	0.4	0.4	0.0
2(1)	流されてきた土や石を積みもらせる水の働きを表す言葉を選ぶ	堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している	○		○	○	86.2	83.6	2.6	0.1	0.1	0.0
2(2)	流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた様子の様式を選ぶ	土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	○		○		54.1	55.4	-1.3	0.3	0.3	0.0
2(3)	一度に流す水の量と木の枝の太さとの関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を描き、選んだだけを書く	より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる	○		○	○	19.0	20.1	-1.1	0.9	1.0	-0.1
2(4)	上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言うことを選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる	○		○	○	60.7	59.8	0.9	0.3	0.3	0.0
3(1)	風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ	乾電池のつなぎ方を変えることと電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる	○		○		64.3	63.5	0.8	0.2	0.3	-0.1
3(2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ	電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	○		○	○	46.7	47.7	-1.0	0.5	0.5	0.0
3(3)	回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ	実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる	○		○	○	58.9	59.4	-0.5	0.5	0.6	-0.1
3(4)	目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせて箱の中の光電池の適切な位置や向きを選ぶ	太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる	○		○	○	44.6	41.9	2.7	0.4	0.6	-0.2
4(1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気付き、適切に操作する方法を選ぶ	ろ過の適切な操作方法を身に付けている	○		○	○	73.0	71.1	1.9	0.3	0.5	-0.2
4(2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる	○		○	○	90.0	89.4	0.6	0.5	0.6	-0.1
4(3)	食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ	物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる	○		○	○	41.7	42.7	-1.0	1.2	1.3	-0.1
4(4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く	実験結果から言うことだけに言及した内容を改善し、その内容を記述できる	○		○	○	36.3	35.9	0.4	8.2	8.9	-0.7

全国との差-3以上
 全国との差+3以上
 全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
9問	7問	16問

課題となる設問

【小学校理科】

趣旨

流れる水の働きによる土地の浸食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ

よし子さんは、川を流れる水の速さと地面のけずられ方について、次のように予想をしました。

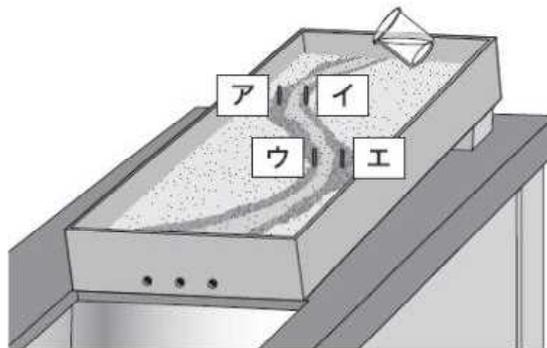


川を流れる水の速さは、川の上のほうから下のほうへ流れていくほど速くなると思うから、川の上のほうでは、川が曲がっているところの外側も内側もけずられないけれど、川の下の方では、外側も内側もけずられると思うよ。

そこで、よし子さんは、自分の予想を確かめるために、下の図の方法で実験することにしました。

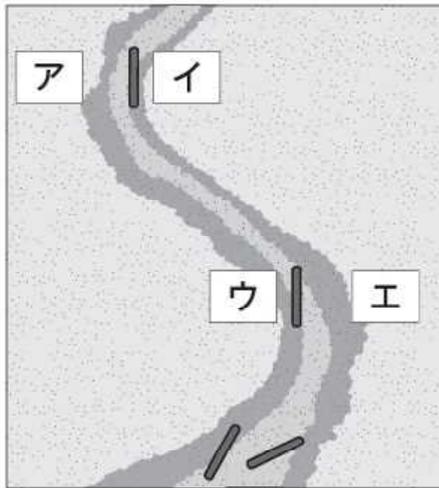
実験方法

- ①土を入れた箱をかたむけて置き、右の図のような曲がっているところがあるみぞをつくる。
- ②曲がっているところの外側と内側ほうに棒を立てる。
- ③ビーカーの水を流す。
- ④棒のようすを調べる。
- ⑤1回ごとに土や棒を元にもどし、3回実験する。

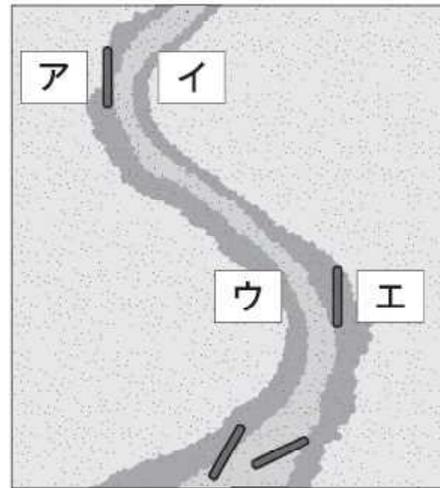


(2) よしさんの予想が正しければ、アからエに立てた棒^{ぼう}は、どのように
 なると考えられますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その
 番号を書きましょう。

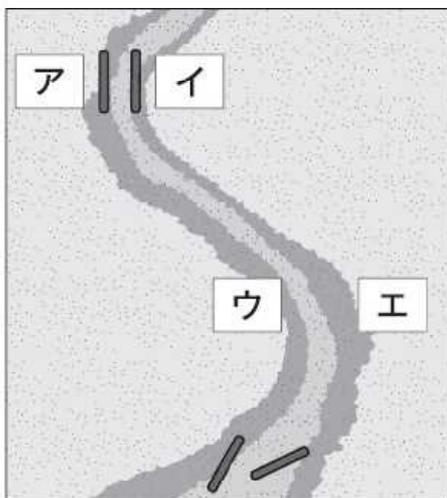
1



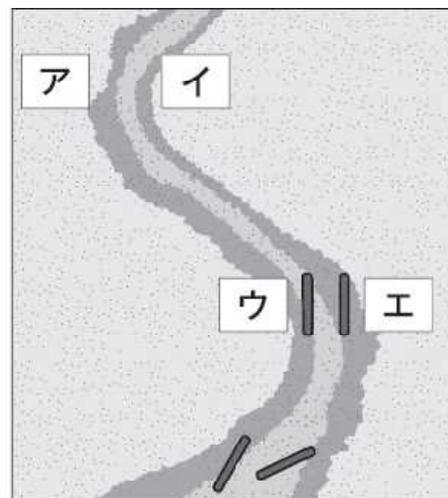
2



3



4



問題番号	問題の概要	知識	活用	解答類型									
				1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
2 (2)	流れる水の動きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ		○	24.7	12.9	54.1	7.5					0.6	0.3
				24.5	12.6	55.4	6.7					0.6	0.3
1	1 と解答しているもの												
2	2 と解答しているもの												
3	3 と解答しているもの												
4	4 と解答しているもの												
99	上記以外の解答												
0	無解答												

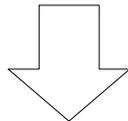
【小学校理科】指導のポイント

—本県の課題—

○予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること

結果を見通す

○「それぞれの予想が正しければ、どのような結果になるのか」という結果の見通しをもたせましょう。



- ① まず、個々に問題に対する根拠ある予想をさせましょう。
- ② 次に、予想を確かめるための実験計画を立てさせましょう。
- ③ 「～な結果が得られるはずだ」という実験結果の見通しをもたせましょう。

○自分なりの予想をもてるように、図や絵、グラフなどで考えを表現させましょう。

○根拠ある予想をもてるように、学習経験、生活経験、共通体験で得られた事実を想起させましょう。

○友達の予想も把握できるように、それぞれの実験結果の見通しをもたせる場面を設定しましょう。

○対象を多面的に調べられるように、自分と異なる他者の予想についても結果を見通せるようにしましょう。



指導例① 小学校4年「あわの正体」

＜問題＞ 水がふっとうしたときに出てくるあわの正体は何だろうか？

①一人一人が根拠のある予想をする



Aくんの予想

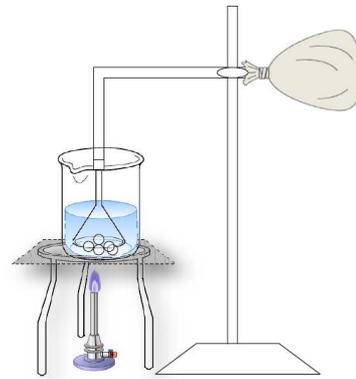
水をふっとうさせたら、水がへっていたから、あわの正体は、水だと思うよ。

ポイント

根拠のある予想をもてるように、学習経験、生活経験、共通体験で得られた事実を想起させましょう。

②予想を確かめるための実験計画を立てる

それぞれの予想を確かめるために、右図のような実験装置を用いて、水がふっとうするときに出てきたあわをふくろの中に集める実験を行う。



③実験結果の見通しをもつ



それぞれの予想が正しければ、どのような実験結果になりますか？

ポイント

友達の予想も把握できるように、それぞれの実験結果の見通しを持たせる場面を設定しましょう。

Aくんは、あわの正体を水だと考えているから、Aくんの考えが正しければふくろに水がたまるはずだよ。



Bさんは、あわの正体を空気だと考えているから、Bさんの考えが正しければふくろがふくらむはずだよ。

指導例② 小学校6年「体のつくりとはたらき」

<問題> 吸う空気とはき出した息では、どのような違いがあるだろうか。

窒素

酸素

二酸化炭素等

①一人一人が根拠のある予想をする

Bさんの予想



海に潜るダイバーは大きな酸素ボンベを背負っているから、呼吸では、たくさんの酸素がつかわれるのではないかな。

ポイント

自分ら根拠ある予想をもてるように、図や絵、グラフなどで考えを表現できるようにしましょう。

②予想を確かめるための実験計画を立てる

空気と呼気の酸素と二酸化炭素の割合を気体検知管で調べる。
準備…酸素用検知管、二酸化炭素用検知管、気体採取器

③実験結果の見通しをもつ



それぞれの予想が正しければ、どのような実験結果になりますか？

Aさんの予想が正しければ、15%くらいは酸素が残っているということだね。

窒素

酸素

二酸化炭素等



Bさんの酸素を全て取り入れ、二酸化炭素を出すという予想なら、吐き出した息の酸素の気体検知管の数値はほとんど変化しないと思うよ。

窒素

二酸化炭素等

ポイント

対象を多面的に調べるられるように、自分と異なる他者の予想についても結果を見通せるようにしましょう。

〈中学校〉

問題別調査結果 [中学校国語A]

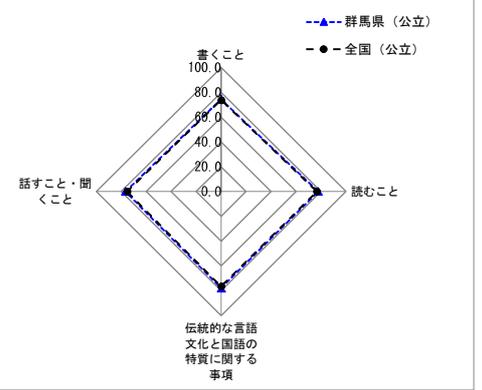
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県 (公立)	全国 (公立)	対象生徒数	群馬県 (公立)	全国 (公立)
	168	9,595		16,947	966,764

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)	
			群馬県 (公立)	全国 (公立)
	全体	32	77	76.1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	76.7	75.2
	書くこと	4	74.5	73.9
	読むこと	4	77.7	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	77.9	76.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	3	76.7	75.2
	書く能力	4	74.5	73.9
	読む能力	4	77.7	76.7
	言語についての知識・理解・技能	21	77.9	76.5
問題形式	選択式	21	77.8	76.8
	短答式	11	76.5	74.7
	記述式	0		

〈学習指導要領の領域等の平均正答率の状況〉



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)					
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	群馬県 (公立)	全国 (公立)	全国比較	群馬県 (公立)	全国 (公立)	全国比較		
1ー	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2 エ								○			○			88.1	87.4	0.7	0.0	0.1	-0.1
2ー	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する		1 イ							○			○			90.0	89.5	0.5	0.2	0.3	-0.1
2二	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く		2 ウ							○			○			63.3	64.0	-0.7	2.6	3.3	-0.7
3ー	「それは掛け値のない、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1 ア						○			○			89.1	88.2	0.9	0.1	0.2	-0.1
3二	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ						○			○			83.4	82.8	0.6	0.1	0.2	-0.1
4ー	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する		1 エ							○			○			64.7	62.8	1.9	0.1	0.2	-0.1
4二	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする		2 エ							○			○			80.2	79.4	0.8	0.2	0.3	-0.1
5ー	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる			2 イ						○			○			76.9	76.3	0.6	0.3	0.5	-0.2
5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものととして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1 イ						○			○			61.3	59.5	1.8	0.2	0.4	-0.2
6ー	話し合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える		1 オ							○			○			74.5	72.4	2.1	0.3	0.5	-0.2
6二	話し合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す		1 オ							○			○			67.6	65.8	1.8	10.6	13.3	-2.7
7ー	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する (ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える				1 (1) イ(4)					○	○		○			88.3	87.3	1.0	0.4	0.6	-0.2
7二	「それは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する				1 (1) イ(2)					○	○		○			89.6	88.4	1.2	0.5	0.9	-0.4
8ー1	漢字を書く (紙をひもでたばねる)					2 (1) ウ(4)					○	○		○			80.6	79.0	1.6	12.0	13.2	-1.2
8ー2	漢字を書く (舞台のマクが上がる)	文脈に即して漢字を正しく書く				2 (1) ウ(4)					○	○		○			77.2	72.9	4.3	10.7	14.4	-3.7
8ー3	漢字を書く (先制点をユルす)					2 (1) ウ(4)					○	○		○			74.2	71.4	2.8	17.5	19.5	-2.0

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較	群馬県(公立)	全国(公立)
8二1	漢字を読む(模型を作る)	文脈に即して漢字を正しく読む			2(1)ウ(7)					○	○		96.3	95.7	0.6	1.5	1.9	-0.4	
8二2	漢字を読む(池の水が凍る)				2(1)ウ(7)					○	○		98.3	97.8	0.5	0.6	0.9	-0.3	
8二3	漢字を読む(技を磨く)				2(1)ウ(7)					○	○		98.4	98.1	0.3	0.8	1.1	-0.3	
8三ア	適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は終始一貫して変わらず、最後まで結論が出なかった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			1(1)イ(10)					○	○		78.7	77.7	1.0	0.6	0.8	-0.2	
8三イ	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある)				2(1)イ(10)					○	○		91.3	91.0	0.3	0.3	0.5	-0.2	
8三ウ	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことをおっしゃった)				2(1)イ(7)					○	○		87.7	88.0	-0.3	0.4	0.6	-0.2	
8三エ	適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)				1(1)イ(10)					○	○		28.5	29.2	-0.7	0.7	0.9	-0.2	
8三オ	適切な語句を選択する(意見の折り合いをつける)				1(1)イ(10)					○	○		62.4	61.8	0.6	0.6	0.9	-0.3	
8三カ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです)				1(1)イ(10)					○	○		65.3	65.4	-0.1	0.6	1.0	-0.4	
8三キ	適切な語句を選択する(姉はみんなと一緒に運動することが好きだ。二方、妹は一人で本を読むことが好きだ)				1(1)イ(12)					○	○		96.0	95.2	0.8	0.6	1.0	-0.4	
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する	慣用語の意味を理解する			3・4(1)ア(10)					○	○		95.4	94.7	0.7	0.5	0.8	-0.3	
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くように書く			2(1)イ(10)					○	○		21.0	22.3	-1.3	5.3	6.5	-1.2	
8五	作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く			1(2)イ					○	○		58.3	54.4	3.9	0.8	1.2	-0.4	
8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える			2(1)ア(10)					○	○		93.2	91.1	2.1	3.8	5.1	-1.3	
8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			1(1)ア(7)					○	○		71.1	63.0	8.1	5.6	7.4	-1.8	
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する			2(1)ア(10)					○	○		83.2	81.3	1.9	1.5	2.2	-0.7	

 全国との差-3以上
 全国との差+3以上
 全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
27 問	5 問	32 問

〈中学校〉

問題別調査結果 [中学校国語B]

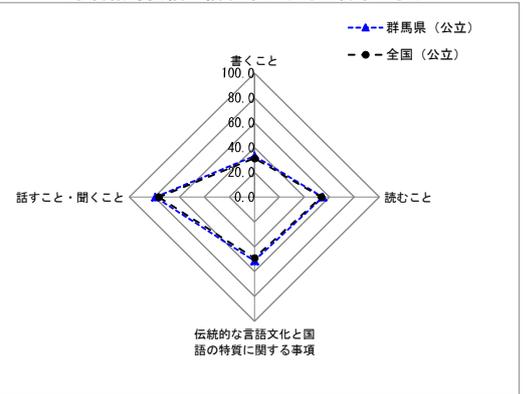
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	群馬県（公立）	全国（公立）
	168	9,594		16,941	966,786

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）	
			群馬県（公立）	全国（公立）
全体				
		9	63	61.2
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	79.5	76.6
	書くこと	2	33.3	31.3
	読むこと	6	54.8	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	51.4	49.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	52.6	50.3
	話す・聞く能力	3	79.5	76.6
	書く能力	2	33.3	31.3
	読む能力	6	54.8	53.5
問題形式	言語についての知識・理解・技能	1	51.4	49.2
	選択式	6	68.2	66.7
	短答式	0		
	記述式	3	52.6	50.3

〈学習指導要領の領域等の平均正答率の状況〉



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	群馬県（公立）	全国（公立）	全国比較	群馬県（公立）	全国（公立）
1ー	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える			1イ									46.5	45.9	0.6	0.1	0.2	-0.1
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1エ									65.0	64.3	0.7	0.2	0.2	0.0
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く			2ウ	1イ								15.3	13.3	2.0	5.5	7.0	-1.5
2ー	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1エ											88.5	86.8	1.7	0.1	0.2	-0.1
2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	1エ											91.2	88.3	2.9	4.5	5.9	-1.4
2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	1イ											58.9	54.6	4.3	0.2	0.4	-0.2
3ー	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1ウ									81.2	80.2	1.0	0.2	0.4	-0.2
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる			2イ									69.3	68.2	1.1	0.2	0.4	-0.2
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝えるように、あらすじを捉えて書く	1ウ	1イ	2ア(1)	7(0)								51.4	49.2	2.2	8.8	12.4	-3.6

全国との差-3以上
 全国との差+3以上
 全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
9問	0問	9問

課題となる設問

【中学校国語 A】

趣旨	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことができるかどうかをみる
----	---

2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書くこと。

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	21.0	0.1	0.6	0.9	67.1	0.6			4.5	5.3
		22.3	0.1	0.7	1.1	63.5	0.6			5.1	6.5
<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「心を打たれた」の正しい意味を理解して書いている。 * 条件①は、設問四1で正答しているかどうかで判断する。 ② 「心を打たれた」の主語を明確にして書いている。 ③ 「誰（何）」のことに「心を打たれた」のかが分かるように書いている。 ④ 「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書いている。 ⑤ 一文で書いている。</p>											
1	◎	条件①、②、③、④、⑤を満たして解答しているもの									
2		条件①、②、③、④を満たし、条件⑤を満たさずに解答しているもの									
3		条件①、②、③、⑤を満たし、条件④を満たさずに解答しているもの									
4		条件①、②、④、⑤を満たし、条件③を満たさずに解答しているもの									
5		条件①、③、④、⑤を満たし、条件②を満たさずに解答しているもの									
6		条件②、③、④、⑤を満たし、条件①を満たさずに解答しているもの									
99		上記以外の解答									
0		無解答									

課題となる設問

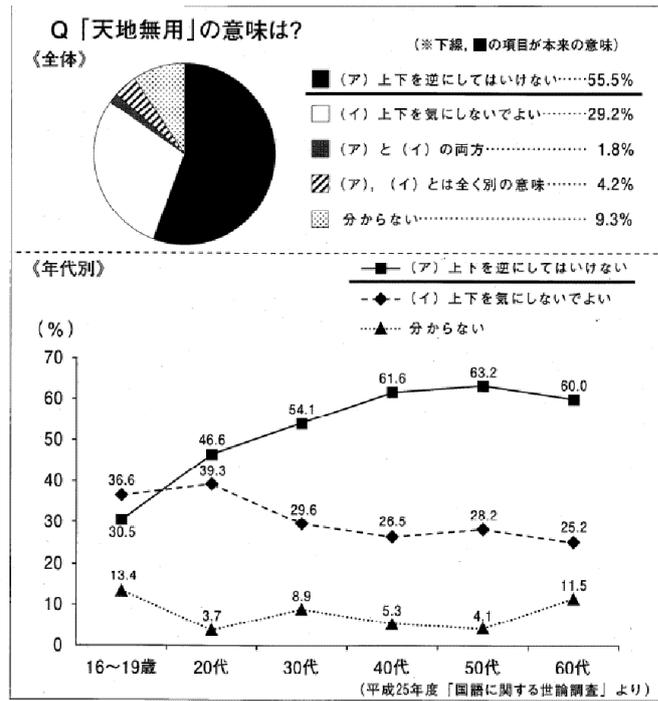
【中学校国語B】

趣旨	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることができるかどうかをみる
----	-------------------------------------

- 4 線部④「反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近い」
- 3 線部③「どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えている」
- 2 線部②「分からない」と回答した人が1割弱
- 1 線部①「本来の意味ではない(イ)上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29・2%)

【資料】の《年代別》の「◆(イ)上下を気にしないでよい」のグラフから分かることについて、文章中ではどのように説明されていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

【資料】



全体では、本来の意味である(ア)「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合(55・5%)が、本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29・2%)をポイント上回っています。また、「分からない」と回答した人が1割弱となっています。

年齢別に見ると、16~19歳を除く全ての年代で(ア)の割合が高いものの、最も低い60代でも25・2%の人が(イ)を選んでおり、どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えていることが読み取れます。

「天地無用」は、本来、誤解があつてはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
1-	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	41.0	5.9	<u>46.5</u>	8.5					0.0	0.1
		40.6	6.5	<u>45.9</u>	6.9					0.0	0.2
1	1と解答しているもの										
2	2と解答しているもの										
3	③と解答しているもの										
4	4と解答しているもの										
99	上記以外の解答										
0	無解答										

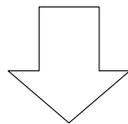
【中学校国語科】指導のポイント

—本県の課題—

- 目的に応じて複数の情報を結び付け、分かりやすく説明すること。
- 語句の意味、文の成分の順序、構成等を考えて、適切な文を書くこと。

言葉にこだわる

- 意識的に言葉に着目して、「考え、表現させる授業」を行きましょう。



- ・言葉を手掛かりにしながら、論理的に考えたり、豊かに想像したりする力を育てましょう。
- ・相手、目的、場面などに応じて、適切な言葉を選んで表現する力を育てましょう。

- 「何となく～」「よく分からないけど～」等、生徒のあいまいな言葉をなくしていくことが大切です。「なぜそう思うのか」「どの部分からそれが分かるのか」「〇〇が使われている意図は何か」等の質問を繰り返しましょう。
- 既習事項を想起させることで、「知識及び技能」を確実に身に付けさせるとともに、他の書籍や新聞等を提示したり、いくつかの条件に応じて表現させたり、必要感のある言語活動を設定したりするなどの工夫をして、表現する力を高めさせましょう。
- 学校生活や日常生活の中で触れる言葉に対して敏感に反応できるように、辞書的な言葉の意味に留まることのない「語彙指導」を継続的に行い、生徒の語彙を増やしましょう。



指導例（中学校：語彙を豊かにする）

語句の量を増やし、日常生活の中で使えるようにするためには、多様な言葉に触れ、語句についての理解を深めることが大切です。ここでは、継続的に行える取組と、各領域における語感を磨く発問例を紹介します。

【継続的に行える取組】

- 読んだ本について記録する
- 気になった言葉を記録する

全校集会で校長先生が話してくれた「〇〇」っていい言葉だな。メモしておいて、あとで意味を調べてみよう！



朝読書で読んだ『〇〇〇』で一番印象に残った部分は、主人公が試合の最後につぶやいた「〇〇〇」って言葉…

気になった言葉を記録に残していくことで、言葉を意識的にみていく習慣がつかます。

※専用ノート（読書ノート、言葉の宝箱など）を作成し、いつでも記録できるような環境、常に辞典が使えるような環境、新聞を読み比べられる環境など、意図的に作ることが大切です。

【各領域における発問の工夫】

●文学的な文章を「読む」学習では…



「きちょうめんな筆」「筆まめ」の「筆」は何を表しているのかな。
（『字のない葉書』より）

辞書的な意味の再確認

多義的に使われる語に着目させ、文章中の意味を確認させます。

「熱情」と「情熱」という言葉は、どのように使い分けられているかな。それぞれの言葉が使われている場所を確認して違いを考えよう。
（『少年の日の思い出』より）

語の意味や語感の違いの気付き

文章中に出てくる似ている言葉に着目させたり、別の言葉と比較させたりして、言葉の使い分けについて考えさせます。



知っていそうな語句でも、生徒によって理解の度合いは違います。語句をいくつか取り上げて全体の場で扱うことが、言葉への意識を高めます。

●説明的な文章を「読む」学習では…

語句のカテゴリー分け

同じような意味をもつ言葉という視点で言葉を集めることで、類語を増やしたり、言葉を対比という視点で捉えることで、語句相互の意味理解を深めたりします。その際、表などにまとめ、自分の考えを書いたり話したりする活動で使えるようにするとよいでしょう。

この文章には、「時」に関わる言葉が多く使われているね。言葉を抜き出して意味の違いを調べよう。
（『ちょっと立ち止まって』より）



「攻撃的」「受容的」のように、対で使われている言葉は対義語というのかな。辞書で確認しよう。
（『ガイアの知性』より）



説明的な文章では、日常生活ではなじみの少ない抽象的な語句も使われます。意図的に取り扱い、意味の理解を深めましょう。

●伝えたいことを「書く」学習では…

紹介したい本のキャッチコピーを15字程度で書いてみよう。キーワードを別の言葉に置き換えたり、語順を入れ替えたりして、どれがいいかを推敲してみよう。
（『本のポップを作ろう』より）



同じことを伝えるにしても、読み手に応じて、言葉を言い換える必要があるね。事実が脚色されないように言い換えてみよう。
（『新聞記事を推敲しよう』より）

語感へのこだわり

読み手を具体的に想定させることはもちろんですが、書く字数を制限したり、使用する言葉を選択したりさせることで、どの言葉を選んで表現するのが適切かを判断する力を育てます。



「何のために何をするのか」を具体的に提示することが大切です。多様な文章の種類や表現方法等に触れる機会を計画的に作りましょう。

●互いの考えを「話す」「聞く」学習では…

語彙数の獲得

「言葉」そのものを言語活動のテーマにすることで、多くの言葉と出会う機会を作ります。

文字表現と音声表現との差

発表の内容についてではなく、使用した語句を中心に意見交換することで、語句の使い方についての意識を高めます。

「私を動かした言葉」というテーマで、クラスの友達に向けてスピーチしてみよう。
（『スピーチをしよう』より）



それぞれの提案を聞いていて、分かりにくかった言い方や語句について意見交換をしよう。
（『説得力のある提案をしよう』より）



抑揚や間の取り方、声の大きさや速さなどの表現指導をする場面とは別に、語句について振り返る場面を意図的に設定しましょう。

「この提案の『サンピ』って言うって言ったけど、「サンピ」って？「賛否」より「賛成か反対か」に言い換えた方がいいと思う。



※普段から言葉に着目していると、相手の反応や状況に応じた自然な話し方の習得にも有効です。

〈中学校〉

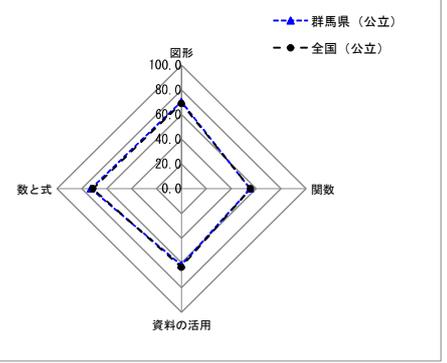
問題別調査結果 [中学校数学A]

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	群馬県(公立)	全国(公立)
	168	9,591		16,937	966,969
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体			群馬県(公立)	全国(公立)
			36	67	66.1
学習指導要領の領域	数と式		12	72.7	71.1
	図形		12	70.4	69.1
	関数		8	55.3	55.5
	資料の活用		4	61.8	63.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度		0		
	数学的な見方や考え方		0		
	数学的な技能		14	70.9	70.4
	数量や図形などについての知識・理解		22	64.3	63.3
問題形式	選択式		18	62.1	61.5
	短答式		18	71.6	70.7
	記述式		0		

〈学習指導要領の領域の平均正答率の状況〉



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合は、それぞれの区分について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解		選択式	短答式	記述式	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較	群馬県(公立)
1 (1)	数直線上の点が表示する負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取るができる	1(1)ア						○			○	94.5	94.6	-0.1	0.2	0.4	-0.2
2 (2)	絶対値が6である数を書く	絶対値の意味を理解している	1(1)ア						○			○	78.8	69.0	9.8	3.8	7.3	-3.5
3 (3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	1(1)ウ						○			○	70.1	68.9	1.2	0.6	1.0	-0.4
4 (1)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1(1)7.1						○	○			55.0	54.2	0.8	0.1	0.1	0.0
5 (2)	「1個 a kg の荷物3個と1個 b kg の荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	1(2)エ						○			○	42.1	41.5	0.6	6.9	8.5	-1.6
6 (2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	2(1)ア						○			○	92.3	91.0	1.3	1.7	2.4	-0.7
7 (2)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	1(2)エ						○			○	79.8	78.5	1.3	3.7	4.8	-1.1
8 (2)	等式 $S = \frac{1}{2} ah$ を、aについて解く	具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる	2(1)ウ						○			○	48.6	48.2	0.4	13.2	15.3	-2.1
9 (3)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	1(3)イ						○	○			64.6	64.0	0.6	0.5	0.6	-0.1
# (3)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	1(3)ウ						○			○	88.9	87.8	1.1	4.2	5.0	-0.8
# (3)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 5x-2y=10 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ						○			○	81.6	80.0	1.6	3.7	4.6	-0.9
# (3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	2(2)ウ						○			○	76.3	75.2	1.1	0.4	0.6	-0.2
# (4)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ	ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している	小6(1)イ						○*	○			67.5	67.1	0.4	0.3	0.3	0.0
# (4)	$\triangle ABC$ を辺ABが辺ACに重なるように折った線を図示するための線を選ぶ	折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解している	1(1)ア						○	○			56.7	54.9	1.8	0.6	0.8	-0.2
# (4)	長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに 90° だけ回転移動した図形をかく	回転移動した図形をかきことができる	1(1)イ						○			○	68.4	66.1	2.3	3.8	4.4	-0.6
# (5)	直方体において、与えられた面に平行な辺を書く	空間における平面と直線との位置関係(面と辺が平行であること)を理解している	1(2)ア						○	○			75.0	74.3	0.7	1.0	1.4	-0.4
# (5)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している	1(2)イ						○	○			83.3	82.4	0.9	2.1	2.9	-0.8
# (5)	与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる	1(2)イ						○			○	86.0	83.7	2.3	0.1	0.3	-0.2
# (5)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の $\frac{1}{3}$ であることを理解している	1(2)ウ						○	○			57.2	57.6	-0.4	0.4	0.5	-0.1

問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較	群馬県(公立)
# 6(1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している		2(1)ア					○	○		73.0	71.4	1.6	0.2	0.4	-0.2
# 6(2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを90°に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している		2(1)イ					○	○		75.8	75.7	0.1	0.3	0.4	-0.1
# 7(1)	△ABCと△DEFが合同であるための条件として、必要な辺や角の相等関係について理解している	2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解している		2(2)ア					○	○		73.0	72.0	1.0	0.3	0.5	-0.2
# 7(2)	長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ	長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している		2(2)ウ					○	○		79.3	78.2	1.1	0.4	0.5	-0.1
# 8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している		2(2)イ					○	○		49.5	45.5	4.0	0.4	0.6	-0.2
# 9(1)	比例 $y = 5x$ について、正しい記述を選ぶ	比例 $y = ax$ における比例定数 a の意味を理解している		1(1)イ					○	○		65.1	65.5	-0.4	1.0	1.2	-0.2
# 9(2)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる		1(1)エ					○	○		56.1	55.0	1.1	11.5	13.0	-1.5
# 9(3)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している		1(1)エ					○	○		52.4	52.8	-0.4	1.0	1.4	-0.4
# 10	点 $(-2, 3)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる		1(1)ウ					○	○		68.3	69.9	-1.6	2.4	2.9	-0.5
# 11(1)	一次関数 $y = 2x + 7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	一次関数 $y = ax + b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる		2(1)イ					○	○		44.1	45.3	-1.2	13.9	14.8	-0.9
# 11(2)	一次関数 $y = -2x + 6$ が表すグラフを選ぶ	一次関数 $y = ax + b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している		2(1)イ					○	○		57.4	56.3	1.1	0.7	0.9	-0.2
# 12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している		2(1)ア					○	○		35.2	36.4	-1.2	0.8	1.0	-0.2
# 13	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している		2(1)ウ					○	○		64.1	62.7	1.4	1.6	1.9	-0.3
# 14(1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	最頻値は、資料の中で最も多く出ている値であることを理解している		1(1)ア					○	○		64.5	68.4	-3.9	1.2	1.4	-0.2
# 14(2)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる		1(1)ア					○	○		71.4	74.0	-2.6	4.4	4.6	-0.2
# 15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している		2(1)ア					○	○		42.4	40.2	2.2	1.5	1.8	-0.3
# 15(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める	表などを利用して、確率を求めることができる		2(1)ア					○	○		69.1	71.3	-2.2	9.9	9.7	0.2

* 評価の観点は、数量や図形についての知識・理解(小学校)に対応させている。

全国との差-3以上
全国との差+3以上
全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
26問	10問	36問

〈中学校〉

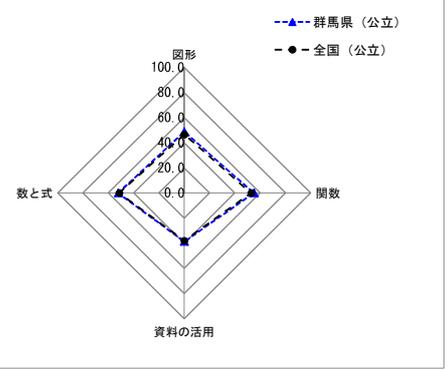
問題別調査結果 [中学校数学B]

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	群馬県(公立)	全国(公立)
	168	9,591		16,941	966,908
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体			群馬県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と式		4	52.2	51.4
	図形		3	48.8	46.7
	関数		3	55.1	52.8
	資料の活用		4	38.7	38.0
	数学への関心・意欲・態度		0		
評価の観点	数学的な見方や考え方		10	46.8	45.1
	数学的な技能		4	51.9	51.3
	数量や図形などについての知識・理解		0		
	選択式		2	63.3	61.5
問題形式	短答式		7	57.3	56.2
	記述式		5	29.4	27.9

〈学習指導要領の領域の平均正答率の状況〉



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較
1 (1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			小5数量(3)1(1)イ			○*			○	57.0	55.7	1.3	8.9	11.1	-2.2		
2 (2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる			2(1)7.4			○			○	44.4	43.9	0.5	5.8	7.0	-1.2		
3 (3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの原因を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる			2(1)イ			○			○	37.6	36.2	1.4	21.4	24.9	-3.5		
4 (2)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	1(1)ウ					○			○	90.5	89.5	1.0	3.3	4.4	-1.1		
5 (2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	2(1)4.9					○			○	38.8	37.5	1.3	21.8	25.0	-3.2		
6 (3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現することができる	2(1)4.9					○			○	68.5	68.3	0.2	0.7	1.1	-0.4		
7 (3)	列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができる			2(1)4.1			○			○	70.3	67.6	2.7	0.3	0.5	-0.2		
8 (3)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる			2(1)4.1			○			○	80.5	77.7	2.8	5.2	6.9	-1.7		
9 (3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)4.1			○			○	14.5	13.2	1.3	28.5	33.4	-4.9		
# 4 (1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる	2(2)ウ					○			○	56.4	55.4	1.0	0.4	0.7	-0.3		
# 4 (2)	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する	発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる	2(2)4.9					○			○	44.8	42.4	2.4	4.1	6.2	-2.1		
# 4 (3)	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(2)ウ					○			○	45.3	42.3	3.0	20.0	24.6	-4.6		
# 5 (1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			小5数量(3)			○*			○	15.7	16.0	-0.3	21.8	24.1	-2.3		
# 5 (2)	通常料金を α としたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	2(1)イ					○			○	10.9	10.4	0.5	4.5	6.6	-2.1		

* 評価の観点は、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている。

全国との差-3以上
 全国との差+3以上
 全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
13問	1問	14問

課題となる設問

【中学校数学 A】

14 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) ある中学校の3年生の男子生徒35人の運動靴について、サイズごとに何人いるかを調べました。この35人の運動靴のサイズの最頻値は25.5 cmでした。このとき必ずいえることを、下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア 35人の運動靴のうち、最も大きい運動靴のサイズは25.5 cmである。
- イ 35人の運動靴のうち、最も小さい運動靴のサイズは25.5 cmである。
- ウ 35人の運動靴のサイズの合計を35でわると、25.5 cmである。
- エ 35人の運動靴をサイズの小さい順に並べると、小さい方から18番目の運動靴のサイズが25.5 cmである。
- オ 35人の中で最も多くの人をはいている運動靴のサイズは25.5 cmである。

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
14 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	8.2	8.1	10.7	7.2	64.5					0.1	1.2
		7.2	7.2	9.1	6.6	68.4					0.1	1.4
1	ア	と解答しているもの。										
2	イ	と解答しているもの。										
3	ウ	と解答しているもの。										
4	エ	と解答しているもの。										
5	◎ オ	と解答しているもの。										
99		上記以外の解答										
0		無解答										

課題となる設問

【中学校数学B】

- 5 里奈さんは、バスツアーを利用して旅行することにしました。そこで、S社とT社のパンフレットから、次のような表にまとめました。

里奈さんが作った表

	S社	T社
プラン名	史跡巡りプラン	史跡巡りプラン
通常料金	1人3500円	1人3200円
団体料金	1人2940円	通常料金の10%引き
団体料金の利用可能人数	8人以上	10人以上

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 里奈さんが作った表から、S社の場合、団体料金は通常料金の560円引きであることがわかります。この560円は通常料金の何%にあたるかを求める式を書きなさい。ただし、実際に何%にあたるかを求める必要はありません。

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
5 (1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	12.7	3.1	20.0	0.1	0.9	7.6	2.7	7.5	23.8	21.8
		12.8	3.2	19.8	0.1	0.7	7.6	2.5	7.0	22.2	24.1
1	◎	560/3500×100 と解答しているもの。									
2	○	16など、上記1を計算して百分率を解答しているもの。									
3		560/3500 と解答しているもの。									
4		0.16など、上記3を計算して数値を解答しているもの。									
5		3500/560×100 と解答しているもの。(625など、3500/560×100を計算して数値を解答しているものを含む。)									
6		3500/560 と解答しているもの。(6.25など、3500/560を計算して数値を解答しているものを含む。)									
7		上記1、2、5以外で、 $y/x \times 100$ の x 、 y に3500、3200、2940、560 のいずれかを用いて解答しているもの。(それを計算して数値を解答しているものを含む。)									
8		上記3、4、6以外で、 y/x の x 、 y に3500、3200、2940、560 のいずれかを用いて解答しているもの。(それを計算して数値を解答しているものを含む。)									
99		上記以外の解答									
0		無解答									

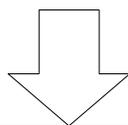
【中学校数学科】指導のポイント

一本県の課題一

- 問題場面から必要な情報を選択し、的確に処理すること。
- 問題場面を捉えるときに、数学的な表現（言葉や数、式、図、表、グラフなど）を用いて考えること。

問題場面を読み取る

- 問題場面から分かることを生徒自らに整理・分析させましょう。



- ・ 既習事項を想起させたり、問題場面を図や表などで表現させたりしながら、解決方法を考える場を設定しましょう。
- ・ 問題場面から捉えさせたことを基に、問題場面を図や表などで確認させながら、結果の見通しを立てられるようにしましょう。

- 問題場面や問題から、すぐに演算決定を行うのではなく、①数量関係を図や表に表すこと、②それを基に演算を決定すること、③立式して解答を導くこと、④解決方法を見直すこと、という学習の流れを大切にしましょう。
- 図、表、式などを比較し、問題場面や問題のどこと結び付いているのかを考えさせる場を設定しましょう。そのことは、図や表を用いることが思考を促すツールとなっていることを実感することにつながります。また、問題場面を整理・分析することで問題解決の見通しが明確になることを味わわせましょう。



指導例① 〈問題解決の方法を数学的に説明する活動〉
 【第1学年「方程式を使って、身の回りの問題を解決してみよう」】

◇ある品物が定価の25%引きで売っていましたが。割引された後の代金は6000円でした。この品物の定価を求めなさい。

めあて：問題解決の方法を図や表、線分図に表してみよう。

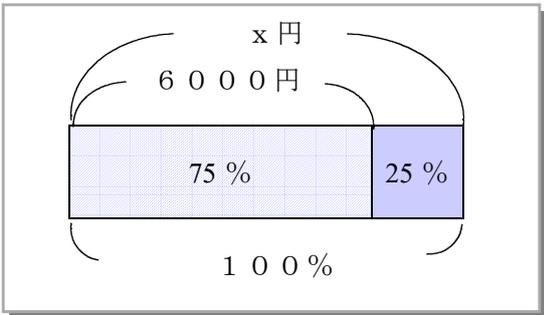


図や表、線分図に表してみたらどうなるかな？



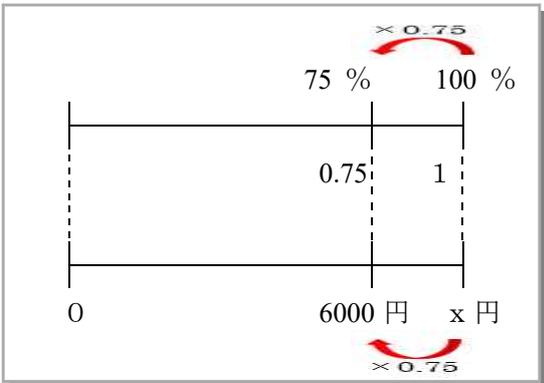
図や表、線分図を使って、どのように考えたのか説明してみよう。

<テープ図で表す>




題意にそって式をつくと、 $x \times 0.75$ が6000円だから、 $0.75x = 6000$ だね。これを解くと、 $x = 8000$ になるよ。

<数直線図で表す>




数直線図の関係から、 $x \times 0.75 = 6000$
 $x = 6000 \div 0.75$ が成り立つね。これを解くと、 $x = 8000$ になるわ。

<表で表す>

百分率(%)	75	100
値段(円)	6000	x



比の関係は等しいから、 $75 : 6000 = 100 : x$ が成り立つね。これを解くと、 $x = 8000$ になるわ。

指導例② 〈文章題の内容を図や表を用いて表現し説明する活動〉
 【第2学年「連立方程式を利用して、身近な問題を解決しよう」】

◇自転車で走ることとランニングを組み合わせる競走がある。A選手は、50kmのコースを自転車では時速24kmで、ランニングでは時速16kmで走って、2時間30分でゴールした。自転車で走った道のりとランニングの道のりを求めよう。

めあて：立式するために必要な情報を整理し、図や表に表してみよう。

①情報を整理する

それぞれの速さはわかっている。

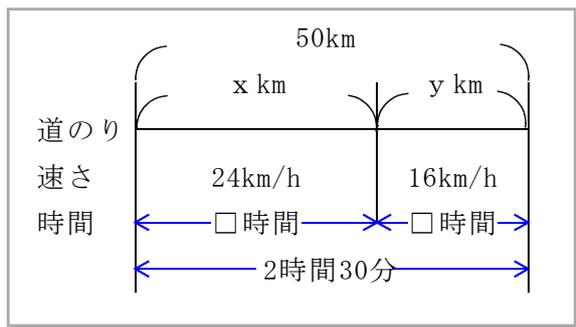
- ・ 自転車とランニングを組み合わせる。
- ・ 全体の道のり：50km
- ・ 自転車の速さ：時速24km、ランニングの速さ：時速16km
- ・ 全体で2時間30分

全体道のりはわかるけど、自転車とランニングの道のりはわからないなあ。

わかっていないそれぞれの道のりをx、yにしよう。

時間は、道のり÷速さで計算できるぞ。

②図や表に整理する（自転車で走った道のりをx km、ランニングの道のりをy kmとした例）



	自転車	ランニング	合計
道のり (km)	x	y	50
速さ (km/h)	24	16	
時間 (h)	$\frac{x}{24}$	$\frac{y}{16}$	$\frac{5}{2}$

③立式する（図・表・式を比較し、それぞれがどこに結び付いているかを考える場面）

道のりをたすと50kmになるね。

自転車の時間は、(道のり)÷(速さ)を使ってだせるね。

合計の道のり： $x + y = 50$

合計の時間： $\frac{x}{24} + \frac{y}{16} = \frac{5}{2}$

2時間30分は、時間に直さないと。

合計が2時間30分かかる情報も使えるね。

☆文章題を図や表を用いて表現させることで、視覚的に整理することができ、場面の数量関係がつかみやすくなります。そして、正しく立式したり、結果を見通したりすることにつながります。

また、求答事項がつかみにくいときに、生徒が自ら問題の場面を図や表に表そうと判断する力を育てることが必要です。そのためにも、図や表を用いて表現することのよさ、をさまざまな場面で経験させることが大切です。

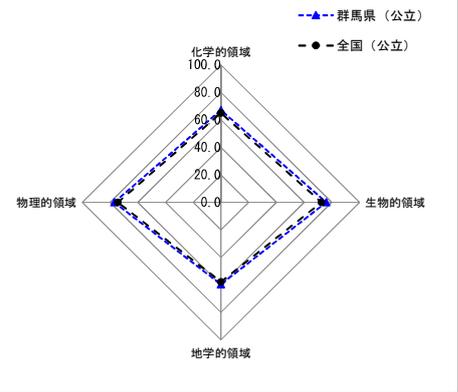
問題別調査結果 [中学校理科]

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	群馬県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	群馬県(公立)	全国(公立)
	167	9,588		16,935	967,188
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			群馬県(公立)	全国(公立)	
全体			27	69	66.1
枠組み	主として「知識」に関する問題	11	71.0	67.9	
	主として「活用」に関する問題	16	67.0	64.9	
学習指導要領の分野等	第1分野	物理的領域	7	77.0	74.4
		化学的領域	8	67.1	65.0
	第2分野	生物的領域	6	76.0	72.5
		地学的領域	7	59.6	57.8
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	1	77.3	74.0	
	科学的な思考・表現	16	67.2	64.9	
	観察・実験の技能	4	70.0	67.0	
	自然事象についての知識・理解	8	71.8	68.7	
問題形式	選択式	17	72.7	70.9	
	短答式	4	74.4	70.2	
	記述式	6	53.3	50.1	

＜学習指導要領の分野等の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み	学習指導要領の分野等	評価の観点	問題形式	正答率(%)			無回答率(%)		
							群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較
1(1)	光の反射を利用した「テレプロンプター」のモデルを作って科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できる	主として「知識」に関する問題	第1分野 物理的領域	科学的な思考・表現	選択式	62.2	61.7	0.5	0.1	0.1	0.0
1(2)	テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる	テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる	主として「活用」に関する問題	第1分野 物理的領域	観察・実験の技能	短答式	75.3	73.7	1.6	0.2	0.2	0.0
2(1)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何にしているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 生物的領域	科学的な思考・表現	記述式	90.0	86.2	3.8	0.1	0.1	0.0
2(2)	低い濃度	濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 生物的領域	観察・実験の技能	選択式	76.7	76.5	0.2	0.9	1.2	-0.3
2(2)	3.0%の濃度	濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 生物的領域	科学的な思考・表現	短答式	47.1	46.9	0.2	0.9	1.3	-0.4
2(3)		「アサリが出した砂の質量は明るさに関係しているとはいえない」と考察した理由を指摘できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 生物的領域	観察・実験の技能	記述式	81.1	79.7	1.4	0.1	0.2	-0.1
2(4)		1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 生物的領域	科学的な思考・表現	記述式	65.1	61.3	3.8	7.5	9.5	-2.0
3(1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 地学的領域	科学的な思考・表現	選択式	39.3	37.5	1.8	0.1	0.2	-0.1
3(2)		太平洋高気圧(小笠原気団)の特徴についての知識を身に付けている	主として「知識」に関する問題	第2分野 地学的領域	科学的な思考・表現	短答式	69.7	67.3	2.4	0.4	0.4	0.0
3(3)		シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる	主として「活用」に関する問題	第2分野 地学的領域	観察・実験の技能	記述式	54.2	52.3	1.9	6.5	7.9	-1.4
4(1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 化学的領域	科学的な思考・表現	選択式	76.7	73.4	3.3	0.2	0.4	-0.2
4(2)		炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 化学的領域	科学的な思考・表現	短答式	46.2	44.1	2.1	13.6	15.5	-1.9
4(3)		化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる	主として「活用」に関する問題	第2分野 化学的領域	科学的な思考・表現	記述式	55.1	49.4	5.7	12.4	16.2	-3.8
5(1)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事象・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	神経系の働きについての知識を身に付けている	主として「知識」に関する問題	第2分野 化学的領域	科学的な思考・表現	選択式	65.0	57.2	7.8	4.9	7.1	-2.2
5(2)		反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できる	主として「知識」に関する問題	第2分野 化学的領域	科学的な思考・表現	短答式	65.2	62.8	2.4	0.3	0.5	-0.2

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み		学習指導要領の分野等				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無回答率(%)			
			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第1分野		第2分野		自然科学への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然科学についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較	群馬県(公立)	全国(公立)	全国比較
					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域													
6(1)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電気用図記号の知識を身に付けている	○		(3) ア(7)					○	○	○		76.0	70.5	5.5	0.2	0.4	-0.2		
6(2)		実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	○		(3) ア(7)					○		○		80.0	77.2	2.8	9.6	11.6	-2.0		
6(2)		オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	○		(3) ア(4)						○		○		57.0	51.9	5.1	12.1	14.6	-2.5	
6(3)		豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	○		(3) ア(9)					○		○		93.1	91.4	1.7	0.4	0.6	-0.2		
7(1)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている	○				(2) ア(4)					○	○		56.7	55.1	1.6	0.3	0.4	-0.1	
7(2)		緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる	○				(2) ア(4)			○		○		80.1	78.5	1.6	0.4	0.5	-0.1		
7(3)		初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる	○		(1) ア(9)			(2) ア(4)			○		○		95.4	94.4	1.0	2.8	3.6	-0.8	
8(1)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしているかどうかをみる	アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている	○				(4) ア(4)					○	○		83.8	83.5	0.3	0.5	0.6	-0.1	
8(2)		発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる	○				(4) イ(9)			○		○		73.9	72.0	1.9	0.4	0.6	-0.2		
8(3)		探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしているかどうかをみる		○		(4) イ(9)				○	○		○		77.3	74.0	3.3	17.4	20.3	-2.9	
9(1)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている	○				(1) イ(4)					○	○		89.7	88.0	1.7	0.5	0.6	-0.1	
9(2)		植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	○				(4) ア(7)			○			○		22.0	19.4	2.6	17.7	21.4	-3.7	

 全国との差-3以上
 全国との差+3以上
 全国との差+5以上

全国平均正答率より上	全国平均正答率より下	全問題数
27問	0問	27問

課題となる設問

【中学校理科】

趣旨 条件制御の知識・技能を活用して、ガスバーナーの空気の量を変えて炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘することができるかどうかをみる。

- 4 科学部の雪子さんは、図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、科学的に探究してレポートにまとめました。
(1)から(3)までの各問いに答えなさい。



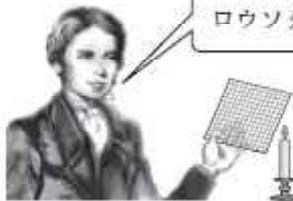
炎の色とスス（炭素）の量



ロウソクの炎から飛んでいくスス（炭素）をご覧なさい。
ススが生じるのは、空気が不足したまま燃焼しているためです。

ガスバーナーの炎が赤いときに、金網にススがついたのは、
空気が不足したまま燃焼したからかな。

ススがついた金網



ロウソクの炎に金網を当てると、ススがつきます。
ロウソクの炎が赤いのは、ススが炎の熱によって輝くからです。

ガスバーナーの炎が赤いときは、ススの量が多いのかな。
ガスバーナーの炎が青いときは、ススの量が少ないのかな。



レポート

課題

ガスバーナーの空気の量を変えて、炎の色と金網につくスス（炭素）の量を調べよう。

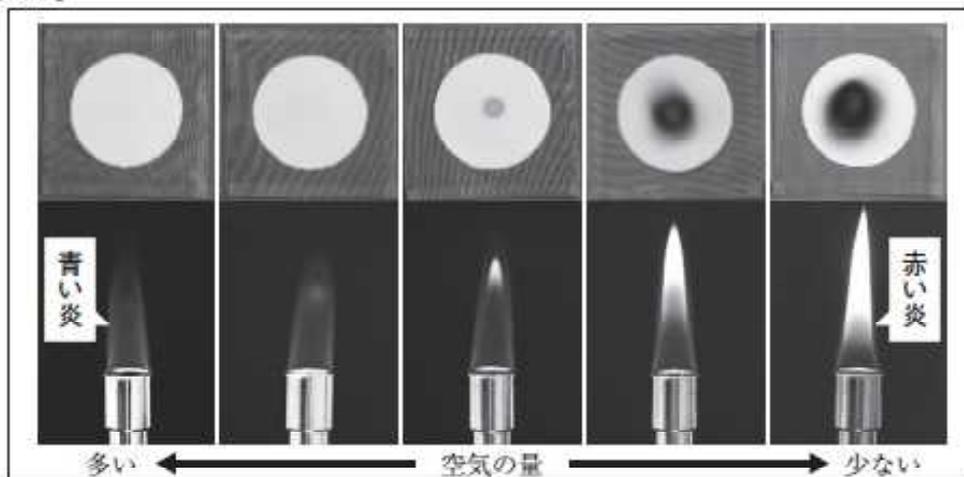
【実験】

表1のように、変える条件と変えない条件を決めて、炎の色と金網につくススの量を調べる。

表1

変える条件	空気の量
変えない条件	ガスの量, <input style="width: 50px;" type="text" value="X"/> ,

【結果】



(2) 表1の に適する変えない条件がいくつかあります。変えない条件を1つ書きなさい。

問題番号	出題の趣旨	知識	活用	解答類型																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答										
4 (2)	炎の色と金網につくススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる		○	29.9	16.3	0.0	0.1	0.0	1.5	21.2	3.5	13.0	19.8	30.4	13.7	0.1	0.2	0.0	1.0	19.7	4.2	14.3	15.5
(正答の条件) 次の(a)又は(b)を満たしているもの。 (a) 金網の位置(高さ)や種類について記述している。 (b) 炎に金網を当てる時間について記述している。																							
1	○	(a)を満たしているもの。		例 金網の位置、位置、金網の高さ、高さ、距離、金網の種類、金網とガスバーナーの(円筒の)距離など																			
2	○	(b)を満たしているもの。		例 炎に金網を当てる時間、金網を当てる時間、時間など																			
3	○	(a)及び(b)を満たしているもの。		例 金網の位置と炎に当てる時間など																			
4		(a)を満たしているが、(b)以外を記述しているもの。		例 金網の位置と気温、金網の位置とガスなど																			
5		(b)を満たしているが、(a)以外を記述しているもの。		例 炎に当てる時間と使用するガスバーナー、炎に当てる時間と気温など																			
6		金網とガスバーナー以外の実験器具に関して記述しているもの。																					
7		炎に関して当てる時間以外について記述しているもの。		例 炎の大きさ、炎の色、炎の勢いなど																			
8		変える条件、変えない条件として示されている条件を記述しているもの。		例 空気の量、ガスの量など																			
99		上記以外の解答																					
0		無解答																					

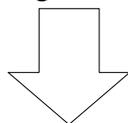
【中学校理科】指導のポイント

—本県の課題—

- 実験を計画する際に、「変える条件」と「変化すること」、「変える条件」に伴って「変わってしまう条件」を指摘すること

条件制御

- 実験の目的に応じた条件を指摘し、条件制御の知識・技能を活用できるようにしましょう。



- 「変化すること（従属変数）」と、その「原因として考えられる要因」を全て挙げ、それらの妥当性を検討させましょう。
- 「変える条件（独立変数）」と「変えない条件」に整理して、実験を計画する学習場面を設定しましょう。

- 要因を整理することで、生徒一人一人が自分なりの仮説を立てられるようにしましょう。
- 「変える条件」と「変えない条件」を整理して、実験を計画できるようにしましょう。
- 「仮説が正しければ～」といった、結果の見通しをもたせましょう。
- 見落としている要因や条件制御について、グループで指摘し合えるよう、教師が助言や問い返しをしましょう。



指導例 中学校2年「電流と磁界」

<課題> 磁界の中で発生する電流の大きさは何に関係しているのだろう

① 電流の大きさが変化する原因として考えられる要因を話し合い、仮説を立てる。

電流の大きさが変化する原因として、どんなことが要因だろう。



磁石の強さによって変わるのじゃないかな。

コイルの巻数も関係しているかな。



他に関係していることはないかな。

前回実験をしたときに、磁石の向きや、動かす速さも関係しているような気がしたな。



「磁石の強さ、コイルの巻数、磁石の向き、磁石を動かす速さ」が要因として考えられそうだね。これらの要因から仮説を立ててみましょう。

ポイント

要因を整理することで、生徒一人一人が自分なりの仮説を立てられるようにしましょう。

仮説

電流が磁界から受ける力の学習でも、磁石を強くすると力が大きくなったので、この実験でも磁石が強くなれば、電流が大きくなるのではないかな。

小学校の電磁石の学習で、コイルの巻数を増やしたら磁力が強くなったから、この実験でもコイルの巻数を増やすと電流が大きくなるのではないかな。

② 仮説をもとに「変える条件」と「変えない条件」を明確にした実験の計画を立てる。



電流の大きさは、磁石の強さによって変わり、磁石の強さが強いほど大きくなると思うので、磁石の強さを「変える条件」にして実験をします。

変える条件	磁石の強さ
変えない条件	コイルの巻き数 磁石の向き 磁石を動かす速さ

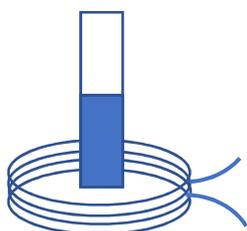
仮説が正しければ、磁石の強さが強い磁石を使ったときほど検流計の示す値が大きくなるはずだ。



電流の大きさは、コイルの巻数によって変わり、巻数が多いほど大きくなると思うので、コイルの巻数を「変える条件」にして実験をします。

変える条件	コイルの巻き数
変えない条件	磁石の強さ 磁石の向き 磁石を動かす速さ

仮説が正しければ、巻数が多いときほど検流計の示す値が大きくなるはずだ。



ポイント

- ※「変える条件」と「変えない条件」を整理して実験を計画できるようにしましょう。
- ※仮説が正しければ、といった結果の見通しをもたせることも大切です。

個人で考えた実験の計画について、グループで検討して改善する場面

「変えない条件」の磁石を動かす速さは、どうやって一定にしようか。

磁石を同じ高さから落下させたら、同じ速さにならないかな？



小学校の電磁石の学習でコイルをつくったとき、導線の長さをそろえたから、コイルの巻数を変える場合は、コイル全体の長さは同じじゃないといけないよね。

ポイント

- ※見落としている要因や条件制御について、グループで指摘し合えるよう、教師が助言や問い返しをしましょう。

Ⅲ 質問紙による調査の概況

Ⅲ 質問紙による調査の概況

1 児童生徒質問紙調査(抜粋)

〈小学校〉

1段目：都道府県(公立)の児童数 2段目：都道府県(公立)の児童数の割合(%) 3段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	選択肢									1,2の合計	全国との差	その他	無回答
		1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	8,697	6,729	1,018	306						* (週1回以上)		8	17
		51.8	40.1	6.1	1.8						51.8	10.6	0.0	0.1
		41.2	47.9	8.0	2.6						41.2		0.2	0.1
(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	7,159	4,584	2,841	2,178								2	11
		42.7	27.3	16.9	13.0						70.0	7.3	0.0	0.1
		35.9	26.8	19.2	18.0						62.7		0.1	0.1
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	12,291	3,187	937	355						* (当てはまる)		2	3
		73.3	19.0	5.6	2.1						73.3	4.5	0.0	0.0
		68.8	21.0	6.8	3.2						68.8		0.1	0.1
(27)	算数の勉強は好きですか	6,051	5,436	3,432	1,850								5	1
		36.1	32.4	20.5	11.0						68.5	4.5	0.0	0.0
		33.9	30.1	21.7	14.2						64.0		0.1	0.0
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教えている時間も含む)	1,387	3,342	6,959	3,885	925	272				(1時間以上)		2	3
		8.3	19.9	41.5	23.2	5.5	1.6				69.7	3.5	0.0	0.0
		12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5				66.2		0.1	0.0
(15)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	1,332	2,188	3,953	4,136	2,298	2,853				(30分以上)		5	10
		7.9	13.0	23.6	24.7	13.7	17.0				44.5	3.4	0.0	0.1
		7.8	11.5	21.8	25.1	14.9	18.7				41.1		0.1	0.1
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	6,602	4,053	6,004							(参加したことがある)		100	16
		39.4	24.2	35.8							39.4	3.3	0.6	0.1
		36.1	26.5	36.2							36.1		1.1	0.1
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	4,699	6,348	4,542	1,184								1	1
		28.0	37.8	27.1	7.1						65.8	3.2	0.0	0.0
		27.7	34.9	27.3	10.0						62.6		0.1	0.0
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	7,335	7,274	1,662	503								0	1
		43.7	43.4	9.9	3.0						87.1	3.1	0.0	0.0
		41.2	42.8	11.6	4.3						84.0		0.1	0.0
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	6,539	7,662	2,057	507						* (当てはまる)		2	8
		39.0	45.7	12.3	3.0						39.0	-3.5	0.0	0.0
		42.5	42.8	11.2	3.3						42.5		0.1	0.1
(19)	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	5,933	6,291	3,454	1,082								4	11
		35.4	37.5	20.6	6.5						72.9	-1.5	0.0	0.1
		40.1	34.3	18.3	7.2						74.4		0.1	0.0
(37)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	11,679	4,744	257							(最後まで努力した)		33	62
		69.6	28.3	1.5							69.6	-1.0	0.2	0.4
		70.6	26.9	1.8							70.6		0.3	0.4

*…1のみ

〈中学校〉

1段目：都道府県(公立)の児童数		2段目：都道府県(公立)の児童数の割合(%)		3段目：全国(公立)の児童数の割合(%)		全国比+5.0以上					全国比+3.0		全国比-3.0以下		課題として考えられる項目 (全国より下回っている数)				
質問 番号	質問事項	選択肢										1,2の 合計	全国 との差	その他	無回答				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	9,406	6,562	732	211											* (週1回以上)	4	18	
		55.5	38.8	4.3	1.2											55.5	14.8	0.0	0.1
		40.7	46.4	9.7	3.0											40.7		0.0	0.2
(48)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	3,991	7,321	4,515	1,099												0	7	
		23.6	43.2	26.7	6.5											66.8	8.3	0.0	0.0
		19.4	39.1	30.9	10.5											58.5		0.0	0.1
(38)	理科の勉強は好きですか	6,212	5,824	3,468	1,426												0	3	
		36.7	34.4	20.5	8.4											71.1	8.2	0.0	0.0
		30.0	32.9	24.1	12.9											62.9		0.0	0.0
(49)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	6,685	6,941	2,671	628												1	7	
		39.5	41.0	15.8	3.7											80.5	8.2	0.0	0.0
		31.7	40.6	20.4	7.1											72.3		0.0	0.1
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	5,158	7,817	3,253	691												1	13	
		30.5	46.2	19.2	4.1											76.7	6.7	0.0	0.1
		26.6	43.4	22.8	7.1											70.0		0.0	0.1
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか	11,676	4,822	377												(最後まで努力した)	2	56	
		69.0	28.5	2.2												69.0	6.2	0.0	0.3
		62.8	32.9	3.8												62.8		0.0	0.5
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	10,358	4,463	1,542	564												1	5	
		61.2	26.4	9.1	3.3											87.6	5.5	0.0	0.0
		52.8	29.3	12.0	5.9											82.1		0.0	0.1
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	9,687	3,265	3,960												(参加したことがある)	0	21	
		57.2	19.3	23.4												57.2	5.4	0.0	0.1
		51.8	21.8	26.2												51.8		0.0	0.2
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	3,055	5,438	5,878	2,555												1	6	
		18.0	32.1	34.7	15.1											50.1	4.7	0.0	0.0
		16.8	28.6	34.9	19.6											45.4		0.0	0.1
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	5,977	6,749	3,244	956												0	7	
		35.3	39.9	19.2	5.6											75.2	4.6	0.0	0.0
		33.2	37.4	21.2	8.1											70.6		0.0	0.1
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	3,807	6,379	4,953	1,785												4	5	
		22.5	37.7	29.3	10.5											60.2	4.5	0.0	0.0
		21.9	33.8	29.8	14.4											55.7		0.0	0.1
(45)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	2,454	5,317	6,332	2,815												0	15	
		14.5	31.4	37.4	16.6											45.9	4.5	0.0	0.1
		13.1	28.3	37.3	21.2											41.4		0.0	0.1
(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	9,033	4,819	2,316	754												4	7	
		53.3	28.5	13.7	4.5											81.8	4.2	0.0	0.0
		49.6	28.0	15.3	7.0											77.6		0.0	0.1
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	3,605	7,057	4,882	1,375												1	13	
		21.3	41.7	28.8	8.1											63.0	4.0	0.0	0.1
		20.7	38.3	29.6	11.2											59.0		0.0	0.1
(3)	将来の夢や目標を持っていますか	8,175	4,708	2,765	1,266												1	18	
		48.3	27.8	16.3	7.5											76.1	3.7	0.0	0.1
		45.3	27.1	17.4	10.0											72.4		0.0	0.2
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	6,148	7,786	2,206	789												0	4	
		36.3	46.0	13.0	4.7											82.3	3.5	0.0	0.0
		33.7	45.1	15.2	6.0											78.8		0.0	0.0
(15)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	1,105	1,671	3,045	4,089	2,193	4,820									(30分以上)	0	10	
		6.5	9.9	18.0	24.1	13.0	28.5									34.4	3.5	0.0	0.1
		6.1	8.7	16.1	22.6	13.5	32.9									30.9		0.0	0.1
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	3,452	7,152	4,705	1,614												2	8	
		20.4	42.2	27.8	9.5											62.6	3.3	0.0	0.0
		20.0	39.3	28.1	12.5											59.3		0.0	0.1
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	9,796	5,399	1,103	541												1	93	
		57.9	31.9	6.5	3.2											89.8	3.2	0.0	0.5
		52.4	34.2	8.6	4.1											86.6		0.0	0.7
(37)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	9,946	6,328	634												(最後まで努力した)	1	24	
		58.7	37.4	3.7												58.7	3.2	0.0	0.1
		55.5	39.6	4.7												55.5		0.0	0.2
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	12,111	3,668	938	204											* (している)	9	3	
		71.5	21.7	5.5	1.2											71.5	3.0	0.1	0.0
		68.5	23.1	6.4	1.9											68.5		0.0	0.0
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	2,680	6,753	5,752	1,727											(している)	3	18	
		15.8	39.9	34.0	10.2											15.8	-2.4	0.0	0.1
		18.2	37.0	31.6	13.1											18.2	55.2	0.0	0.1
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	2,424	6,327	6,343	1,833												0	6	
		14.3	37.4	37.5	10.8											51.7	-0.4	0.0	0.0
		16.6	35.5	34.8	13.0											52.1		0.0	0.1
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	5,571	6,951	3,504	899												0	8	
		32.9	41.1	20.7	5.3											74.0	-0.2	0.0	0.0
		35.6	38.6	19.2	6.5											74.2		0.0	0.0
(31)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	4,687	7,188	4,019	1,022												6	11	
		27.7	42.4	23.7	6.0											70.1	-0.2	0.0	0.1
		29.1	41.2	22.6	7.0											70.3		0.0	0.1
(32)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	1,788	4,723	6,767	3,645												3	7	
		10.6	27.9	40.0	21.5											38.5	-0.2	0.0	0.0
		12.0	26.7	37.5	23.6											38.7		0.0	0.1

2 学校質問紙調査(抜粋)

〈小学校〉

1段目：都道府県(公立)の児童数 2段目：都道府県(公立)の児童数の割合(%) 3段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	選択肢									全国比+8.0以上	全国比+5.0以上	全国比-3.0以下
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1,2の合計	全国との差	その他無回答
(4 1)	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	141	170								(実施した)		0
		45.3	54.7								45.3	36.0	0.0
		9.3	90.6								9.3		0.1
(1 5)	調査対象日現在の第6学年の児童が、第6学年に進級する際に、クラス替えをしましたか(新設)	202	109								(行った)		0
		65.0	35.0								65.0	23.8	0.0
		41.2	58.7								41.2		0.0
(5 1)	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	248	62	1	0						(週1回以上)		0
		79.7	19.9	0.3	0.0						79.7	18.7	0.0
		61.0	36.4	2.2	0.3						61.0		0.1
(3 8)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	57	181	71	2								0
		18.3	58.2	22.8	0.6						76.5	12.0	0.0
		11.8	52.7	33.9	1.4						64.5		0.1
(4 4)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	31	182	97	1								0
		10.0	58.5	31.2	0.3						68.5	12.0	0.0
		8.0	48.5	40.8	2.5						56.5		0.1
(4 3)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	57	173	79	2								0
		18.3	55.6	25.4	0.6						73.9	7.4	0.0
		13.7	52.8	30.2	3.2						66.5		0.1
(1 3)	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか(新設)	55	221	34	1								0
		17.7	71.1	10.9	0.3						88.8	5.2	0.0
		16.6	67.0	15.9	0.4						83.6		0.0
(5 7)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	92	165	47	7								0
		29.6	53.1	15.1	2.3						82.7	-3.5	0.0
		33.2	53.0	12.9	0.8						86.2		0.1
(7 0)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	135	120	50	6								0
		43.4	38.6	16.1	1.9						82.0	-4.0	0.0
		40.0	46.0	12.6	1.3						86.0		0.1
(7 1)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	78	140	84	9								0
		25.1	45.0	27.0	2.9						70.1	-4.0	0.0
		26.7	47.4	23.6	2.2						74.1		0.1
(5 6)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	34	199	76	2								0
		10.9	64.0	24.4	0.6						74.9	-4.2	0.0
		18.0	61.1	20.1	0.6						79.1		0.1
(3 2)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	107	165	39							(行った)		0
		34.4	53.1	12.5							87.5	-4.8	0.0
		35.7	56.6	7.6							92.3		0.1
(7 3)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	168	109	33	1								0
		54.0	35.0	10.6	0.3						89.0	-5.0	0.0
		64.8	29.2	5.5	0.5						94.0		0.0
(5 0)	調査対象学年の児童に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されましたか	4	307								(配置されていた)		0
		1.3	98.7								1.3	-13.4	0.0
		14.7	85.2								14.7		0.1
(2 1)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	35	118	121	37								0
		11.3	37.9	38.9	11.9						49.2	-13.9	0.0
		18.7	44.4	31.4	5.5						63.1		0.0
(5 9)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	103	208								(行った)		0
		33.1	66.9								33.1	-14.4	0.0
		47.5	52.4								47.5		0.0
(7 6)	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	54	156	99	2								0
		17.4	50.2	31.8	0.6						67.6	-19.6	0.0
		36.6	50.6	12.6	0.2						87.2		0.0
(3 4)	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	32	103	146	29								1
		10.3	33.1	46.9	9.3						43.4	-19.9	0.3
		17.1	46.2	30.7	6.0						63.3		0.1
(7 7)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	29	104	116	62								0
		9.3	33.4	37.3	19.9						42.7	-26.8	0.0
		25.1	44.4	22.6	7.8						69.5		0.1

〈中学校〉

		全国比+8.0以上			全国比+5.0以上			全国比-3.0以下						
1段目：都道府県(公立)の児童数 2段目：都道府県(公立)の児童数の割合(%) 3段目：全国(公立)の児童数の割合(%)		選択肢									1,2の合計	全国との差	その他無回答	
質問番号	質問事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
(49)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、理科室で生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	138	29	0	1							(週1回以上)	0	
		82.1	17.3	0.0	0.6							82.1	16.6	0.0
		65.5	32.2	2.0	0.2							65.5		0.1
(35)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	38	17	13	32	68						(行った)	0	
		22.6	10.1	7.7	19.0	40.5						59.4	14.4	0.0
		15.8	7.1	9.1	13.0	55.0						45.0		0.1
(34)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	51	14	10	31	62						(行った)	0	
		30.4	8.3	6.0	18.5	36.9						63.2	12.7	0.0
		20.7	7.9	9.5	12.4	49.4						50.5		0.1
(62)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしての宿題を与えましたか(国語/数学共通)	33	107	28	0								0	
		19.6	63.7	16.7	0.0							83.3	9.6	0.0
		18.1	55.6	25.7	0.5							73.7		0.1
(45)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	51	87	29	1								0	
		30.4	51.8	17.3	0.6							82.2	9.2	0.0
		17.9	55.1	25.6	1.3							73.0		0.1
(66)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか(新設)	75	67	24	2								0	
		44.6	39.9	14.3	1.2							84.5	7.9	0.0
		27.8	48.8	22.2	1.2							76.6		0.1
(21)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	49	117	2	0								0	
		29.2	69.6	1.2	0.0							98.8	6.2	0.0
		26.1	66.5	7.2	0.0							92.6		0.1
(37)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	30	92	45	1								0	
		17.9	54.8	26.8	0.6							72.7	6.2	0.0
		13.5	53.0	31.3	2.0							66.5		0.1
(16)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	49	110	9	0								0	
		29.2	65.5	5.4	0.0							94.7	6.0	0.0
		30.7	58.0	11.0	0.3							88.7		0.0
(38)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	19	112	37	0								0	
		11.3	66.7	22.0	0.0							78.0	5.9	0.0
		10.4	61.7	27.4	0.3							72.1		0.1
(25)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	31	119	18	0								0	
		18.5	70.8	10.7	0.0							89.3	5.7	0.0
		15.6	68.0	16.2	0.1							83.6		0.1
(52)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	16	49	66	37								0	
		9.5	29.2	39.3	22.0							38.7	5.7	0.0
		10.6	22.4	30.5	36.5							33.0		0.1
(60)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/数学共通)	95	69	4	0								0	
		56.5	41.1	2.4	0.0							97.6	5.7	0.0
		38.8	53.1	7.5	0.4							91.9		0.2
(44)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	46	101	21	0								0	
		27.4	60.1	12.5	0.0							87.5	5.5	0.0
		23.5	58.5	17.4	0.5							82.0		0.1
(43)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	57	104	7	0								0	
		33.9	61.9	4.2	0.0							95.8	5.1	0.0
		28.9	61.8	9.1	0.1							90.7		0.1
(67)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、長期休業期間中に自由研究などの家庭学習の課題を与えましたか(新設)	74	57	26	11								0	
		44.0	33.9	15.5	6.5							77.9	-3.2	0.0
		44.7	36.4	13.7	5.2							81.1		0.1
(72)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	64	91	13	0								0	
		38.1	54.2	7.7	0.0							92.3	-3.2	0.0
		47.0	48.5	4.4	0.1							95.5		0.1
(53)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	2	33	98	35								0	
		1.2	19.6	58.3	20.8							20.8	-5.1	0.0
		2.9	23.0	49.8	24.2							25.9		0.1
(31)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	39	100	29								(行った)	0	
		23.2	59.5	17.3								82.7	-5.8	0.0
		33.1	55.4	11.3								88.5		0.2
(81)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	60	71	37	0								0	
		35.7	42.3	22.0	0.0							78.0	-7.4	0.0
		48.1	37.3	14.1	0.5							85.4		0.0
(70)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	66	68	34	0								0	
		39.3	40.5	20.2	0.0							79.8	-8.7	0.0
		49.0	39.5	10.1	1.2							88.5		0.1
(20)	前年度までに、近隣の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	24	76	59	9								0	
		14.3	45.2	35.1	5.4							59.5	-9.7	0.0
		25.5	43.7	26.2	4.5							69.2		0.1
(33)	平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の小学校と成果や課題を共有しましたか	9	83	57	19								0	
		5.4	49.4	33.9	11.3							54.8	-9.2	0.0
		19.1	44.9	28.9	7.1							64.0		0.1
(58)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(57)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	18	65	57	28								0	
		10.7	38.7	33.9	16.7							49.4	-11.3	0.0
		22.1	38.6	25.1	14.2							60.7		0.1
(73)	教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	22	96	48	2								0	
		13.1	57.1	28.6	1.2							70.2	-12.7	0.0
		30.7	52.2	16.6	0.5							82.9		0.1
(74)	前年度までに、近隣の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	22	77	47	22								0	
		13.1	45.8	28.0	13.1							58.9	-17.6	0.0
		33.8	42.7	16.6	6.8							76.5		0.1

3 学習に関する状況

(1) 算数・数学に関する状況

() 内は全国比

全国比+2以上	全国比-2以下	全国比-2以下ではないが課題である
---------	---------	-------------------

算数・数学の勉強が好きである児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
算数・数学の勉強は好きですか	70.3 (+ 4.2)	72.4 (+ 5.8)	70.6 (+ 4.6)	69.9 (+ 4.0)	68.5 (+ 4.5)				54.9 (- 0.5)	53.9 (+ 0.0)

今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、最後まで努力した児童生徒の割合

※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	80.5 (+ 0.8)	74.5 (+ 1.2)	72.2 (+ 0.2)	69.7 (- 0.2)	69.6 (- 1.0)				95.4 (+ 2.1)	96.1 (+ 1.0)

算数〔数学〕の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
算数〔数学〕の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.0 (+ 1.7)	69.7 (+ 2.0)	69.9 (+ 2.5)	70.3 (+ 1.2)	65.5 (+ 1.1)				43.8 (- 1.5)	38.5 (- 0.2)

調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していた小学校の割合

※「実施していた」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	16.3 (+ 10.5)	22.3 (+ 15.1)	23.6 (+ 14.7)	29.4 (+ 20.4)	45.3 (+ 36.0)					

調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った小中学校の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	60.8 (+ 2.5)	70.6 (+ 9.0)	75.4 (+ 10.4)	77.4 (+ 10.5)	76.5 (+ 12.0)	65.2 (+ 3.9)	73.9 (+ 8.5)	70.1 (+ 1.0)	78.4 (+ 7.2)	72.7 (+ 6.2)

調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、算数〔数学〕の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った小中学校の割合

※「年間の授業のうち、おおよそ3/4以上」「年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満」「年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満」「年間の授業のうち、おおよそ1/4未満」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、算数〔数学〕の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	39.8 (- 9.9)	67.2 (+ 14.8)	69.3 (+ 15.4)	69.1 (+ 14.1)	57.6 (+ 2.9)	51.4 (+ 16.8)	68.1 (+ 28.4)	63.0 (+ 21.1)	56.0 (+ 12.4)	59.4 (+ 14.4)

調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、算数〔数学〕の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした小中学校の割合

※「年間の授業のうち、おおよそ3/4以上」「年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満」「年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満」「年間の授業のうち、おおよそ1/4未満」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童に対して、算数〔数学〕の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	60.8 (+ 5.2)	71.5 (+ 12.1)	72.1 (+ 11.4)	69.1 (+ 14.1)	62.8 (+ 0.8)	54.8 (+ 14.2)	72.9 (+ 26.8)	70.1 (+ 22.1)	60.3 (+ 11.1)	63.2 (+ 12.7)

〈成果〉

- 「算数・数学の勉強は好きですか」との質問に、肯定的に回答した小児童生徒は、平成26年度以降、微減しているものの、全国平均と比較すると、多い傾向にある。
- 「調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか」との質問に、肯定的に回答した小学校は、平成26年度以降、増加傾向にある。平成30年度は約4割であり、全国平均より、実施している小学校の割合は高い。
- 「調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、平成26年度以降、大きな変化は見られないが、平成30年度は、小中学校ともに7割を超えている。
- 「調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、算数〔数学〕の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、平成26年度と比較すると、平成27年度は大きく増加したが、それ以降は、大きな変化は見られない。平成30年度は、小中学校ともに約6割である。特に、中学校においては、全国平均より高い傾向にある。
- 「調査対象学年の児童に対して、算数〔数学〕の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか」との質問に、肯定的に回答した小中学校は、6割を超えている。中学校においては、平成27年度以降、減少傾向が見られるが、全国平均より指導を行っている割合は、高い傾向にある。

〈課題〉

■「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか」との質問に、肯定的に回答している児童は、約7割であるが、平成26年度以降微減しており、全国平均より低い傾向にある。

■「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」との質問に、肯定的に回答している生徒は、約4割弱であり、全国平均より低い傾向にある。

→算数・数学の授業において、指導形態を工夫した取組は行っているが、求め方を説明させたり、普段の生活と関連した内容を扱ったりするなど、指導の工夫をしましょう。

(2) 理科

() 内は全国比 全国比+2以上 全国比-2以下 全国比-2以下ではないが課題である

理科の勉強は好きである児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
理科の勉強は好きですか		84.7 (+ 1.2)			86.1 (+ 2.6)		70.3 (+ 8.4)			74.4 (+ 5.1)

理科の授業では、理科室で観察や実験を行っている児童生徒の割合

※「週1回以上」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか		56.9 (+ 11.1)			51.8 (+ 10.6)		56.9 (+ 11.1)			63.4 (+ 24.2)

調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童〔生徒〕が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行った小中学校の割合

※「週1回以上」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童生徒に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか		74.3 (+ 16.1)			79.7 (+ 18.7)		79.9 (+ 19.9)			82.1 (+ 16.6)

理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか		77.2 (+ 1.9)			75.7 (+ 0.5)					65.9 (+ 10.9)

調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行った小中学校の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童〔生徒〕に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか		83.9 (+ 2.3)			88.4 (+ 1.9)		72.8 (+ 7.0)			82.2 (+ 9.2)

調査対象学年の児童〔生徒〕理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行っている小中学校の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童〔生徒〕理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか		52.0 (+ 4.8)			68.5 (+ 12.0)		62.7 (+ 0.2)			70.9 (+ 1.9)

〈成果〉

- 「理科の勉強は好きですか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均と比較すると、児童は+2.6、中学生は+5.1であり、平成30年度は、小学生約8割、中学生は約7割を超えている。
- 「調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、全国平均と比較すると、小学校は+18.7、中学校は+16.6であり、平成30年度は、小学校は8割近く、中学校は8割を超えている。
- 「調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、全国平均と比較すると、小学校は+1.9、中学校は+9.2であり、中学校においては、小学校に比べて、高い傾向にある。
- 「調査対象学年の児童〔生徒〕理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか」との質問に、肯定的に回答した小中学校は、約7割であり、小学校においては、全国平均と比較すると、+12.0であり、高い傾向にある。

(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

() 内は全国比

全国比+2以上

全国比-2以下

全国比-2以下ではないが課題である

児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思っている教員の割合

※「そのとおりだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合

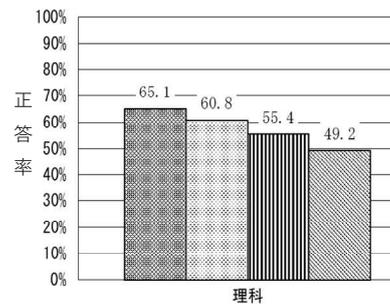
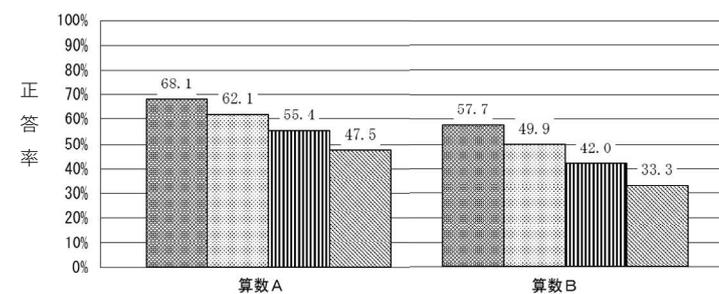
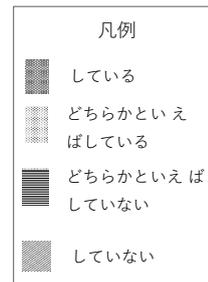
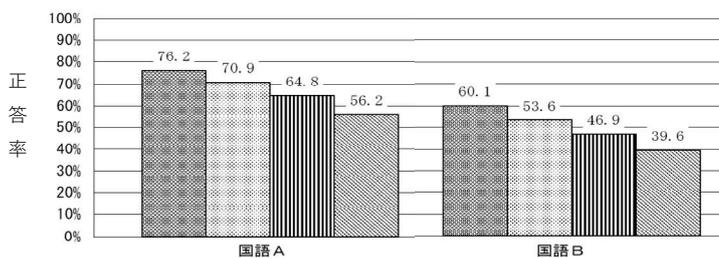
設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか。					88.8 (+ 5.2)					85.1 (+ 4.3)

5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいた小中学生の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか					78.4 (+ 1.7)					76.5 (+ 2.7)

5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいた小学生の割合と各教科の正答率とのクロス集計



児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている教員の割合

※「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した割合

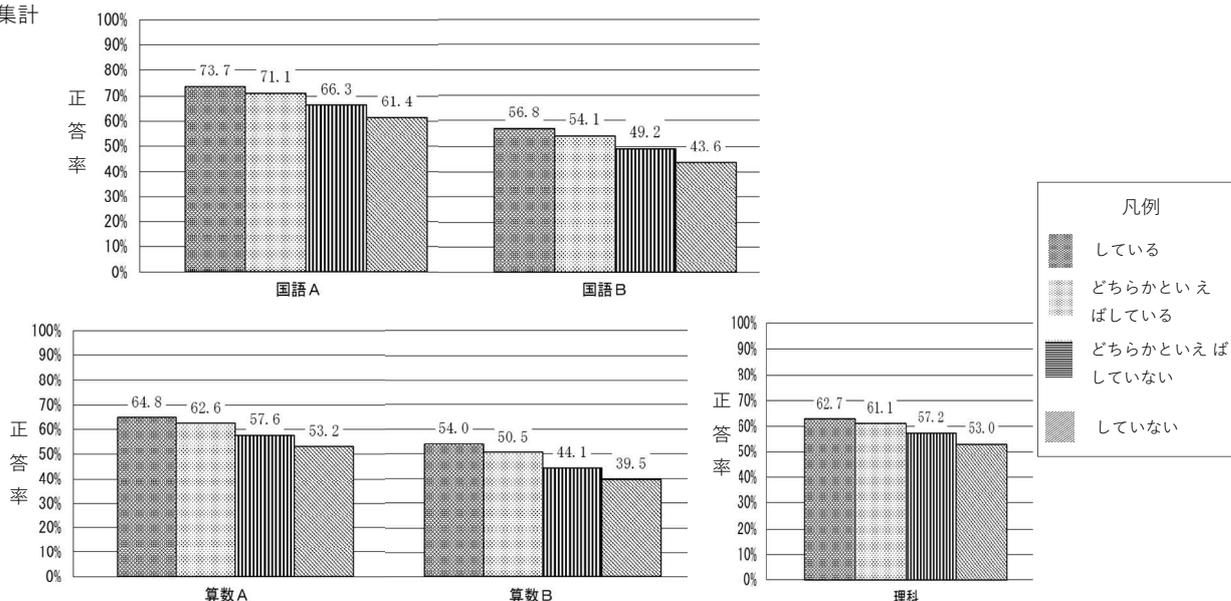
設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか			94.2 (+ 4.1)	94.8 (+ 3.3)	95.2 (+ 2.2)			89.3 (+ 0.7)	95.2 (+ 5.6)	98.8 (+ 6.2)

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる小中学生の割合

※「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか	67.0 (+ 1.1)	67.4 (+ 0.5)	70.7 (+ 2.4)	69.1 (+ 0.9)	78.3 (+ 0.6)	65.6 (+ 3.7)	65.1 (+ 2.2)	67.6 (+ 2.8)	66.4 (+ 1.6)	79.0 (+ 2.7)

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる小学生の割合と各教科の正答率とのクロス集計



〈成果〉

○「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができると思いますか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は、8割を超えている。また、この質問に、肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。

○「児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は、平成28年度以降、増加傾向が見られ、平成30年度は9割を超えている。

○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童生徒は、平成26年度以降、増加傾向が見られ、平成30年度は、約8割となっている。また、この質問に、肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。

(4) 家庭学習

() 内は全国比

全国比+2以上	全国比-2以下	全国比-2以下ではないが課題である
---------	---------	-------------------

家で、学校の授業の予習・復習をしている小中学生の割合

※「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	59.1 (+ 5.1)	59.1 (+ 4.6)	60.5 (+ 5.3)	58.8 (+ 5.0)	65.8 (+ 3.2)					55.7 (+ 0.5)

家で、自分で計画を立てて勉強をしている小中学生の割合

※「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	62.1 (+ 1.1)	65.1 (+ 2.3)	64.0 (+ 1.8)	66.7 (+ 2.2)	69.2 (+ 1.6)	48.1 (+ 1.5)	48.8 (+ 0.0)	49.7 (+ 1.3)	52.0 (+ 0.5)	51.7 (- 0.4)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた教員の割合（国語／算数〔数学〕共通）

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

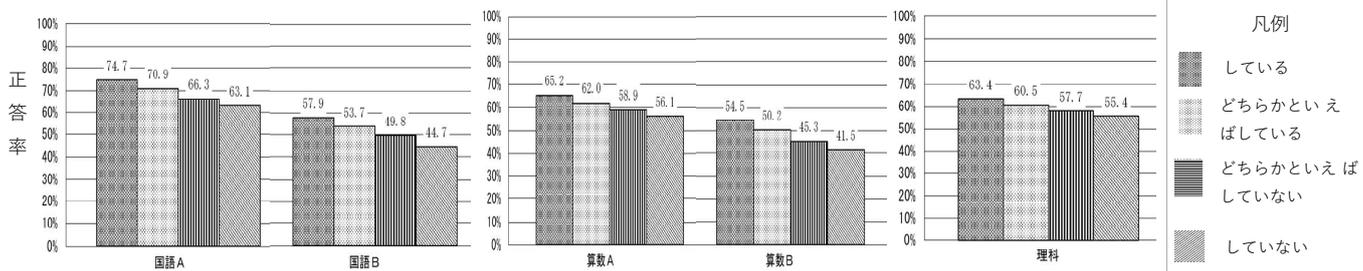
設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数〔数学〕共通）	74.8 (- 3.0)	77.7 (- 1.8)	84.0 (+ 1.9)	84.8 (+ 1.7)	84.2 (- 0.2)	73.7 (+ 9.5)	72.2 (+ 6.1)	77.9 (+ 9.1)	76.5 (+ 6.7)	83.3 (+ 9.6)

家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している小中学生の割合

※「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか					71.5 (+ 1.6)					72.1 (+ 0.8)

家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している小学生と各教科の正答率とのクロス集計



〈成果〉

- 「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」との質問に、肯定的に回答している児童は、6割を超えている。
- 「調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数〔数学〕共通）」との質問に、肯定的に回答している教員は、小中学校ともに8割を超えている。中学校では、全国平均と比較すると、+9.6であり、高い傾向にある。

〈課題〉

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」との質問に、肯定的に回答している中学生は約5割であり、小学生と比較すると、やや少ない傾向にある。
 - 「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか」との質問に、肯定的に回答している小中学生は、約7割にとどまっている。肯定的に回答している方が、平均正答率が高い傾向にある。
- 教科書を使いながら学習ができる課題に取り組みさせるなど、宿題の内容について工夫をしましょう。

4 児童生徒の自己肯定感等に関する状況

()内は全国比

全国比+2以上

全国比-2以下

自分には、よいところがあると思っている児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
自分には、よいところがあると思いますか	79.2 (+ 3.1)	79.7 (+ 3.3)	79.4 (+ 3.1)	80.9 (+ 3.0)	87.1 (+ 3.1)	70.2 (+ 3.1)	71.4 (+ 3.3)	72.9 (+ 3.6)	73.4 (+ 2.7)	82.3 (+ 3.5)

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思っている児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか			82.1 (- 0.5)	84.8 (- 1.2)	84.7 (- 0.6)			81.6 (+ 3.6)	82.6 (+ 2.2)	84.2 (+ 2.0)

学校生活の中で、児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行っている教員の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	96.4 (- 0.5)	97.2 (+ 0.5)	99.1 (+ 0.7)	97.4 (+ 0.0)	99.0 (+ 0.0)	99.4 (+ 2.9)	98.8 (+ 3.0)	98.8 (+ 1.6)	98.2 (+ 2.7)	100 (+ 2.1)

〈成果〉

- 「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒は、平成26年度以降、増加傾向にあり、平成30年度は、8割を超えている。
- 「調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は、平成26年度以降、増加傾向にあり、平成30年度は9割を超えている。中学校においては、全ての学校が肯定的に回答している。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に、肯定的に回答している児童生徒は、平成26年度以降、増加傾向にあるが、平成30年度は約8割が回答している。

〈課題〉

■児童生徒のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組について、教員と児童生徒との意識に差が見られる。

→児童生徒が、努力したり工夫したりしたことを認めて、褒めるようにしましょう。

人の役に立つ人間になりたいと思っている児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.5 (+ 0.5)	94.2 (+ 0.5)	94.0 (+ 0.2)	92.9 (+ 0.4)	95.8 (+ 0.6)	94.6 (+ 0.6)	94.3 (+ 0.6)	93.8 (+ 1.0)	92.7 (+ 0.8)	95.6 (+ 0.7)

〈成果〉

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒は、平成26年度以降、増加傾向にあり、平成30年度も引き続き、9割を超えている。特に、平成30年度は、平成29年度に比べて、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、増加している。（「当てはまる」と回答：H29年度比 小+6.6、中+5.7）

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
将来の夢や目標を持っていますか	87.7 (+ 1.0)	87.9 (+ 1.4)	87.0 (+ 1.7)	87.0 (+ 1.1)	86.6 (+ 1.5)	74.3 (+ 2.9)	74.9 (+ 3.2)	75.0 (+ 3.9)	73.1 (+ 2.6)	76.1 (+ 3.7)

職場見学や職場体験活動を行っている小中学校の割合

※「行っている」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
職場見学や職場体験活動を行っていますか	28.8 (- 16.1)	26.3 (- 15.7)	29.1 (- 16.0)	30.3 (- 15.1)	33.1 (- 14.4)	98.9 (+ 0.4)	98.8 (+ 0.3)	99.4 (+ 0.6)	98.2 (- 0.7)	99.4 (+ 0.5)

〈成果〉

○「将来の夢や目標を持っていますか」との質問に、平成26年度以降、大きな変化は見られないが、平成30年度も引き続き、肯定的に回答した児童は8割、生徒は7割を超えている。

〈課題〉

■「職場見学や職場体験活動を行っていますか」との質問に、行っていると回答した小学校の割合は、全国平均と比較すると低い傾向であり、平成26年度以降、約3割である。

→生活科や社会科などの学習で実施している地域の商店や農家などの職場見学の活動は、キャリア教育につながる取組です。キャリア教育の全体計画や年間指導計画を見直し、これらの活動の充実を図りましょう。

5 群馬県の課題に関する状況

(1) 小中連携

()内は全国比

全国比+2以上

全国比-2以下

前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同して研修を行っている小中学校の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか			38.0 (- 24.5)	40.7 (- 24.9)	42.7 (- 26.8)			48.5 (- 24.0)	51.2 (- 23.6)	58.9 (- 17.6)

〈課題〉

■「前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、平成28年度以降、増加傾向である。しかし、平成30年度は、小学校は約4割、中学校は約6割程度にとどまっている。

→校内研修の計画の中に小中合同研修を位置付けるなど、研修方法や内容等を工夫しましょう。

(2) 教員の研修

校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている小中学校の割合

※「よくしている」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか			81.8 (+ 9.3)	78.7 (+ 4.9)	82.6 (+ 9.0)			78.4 (+ 17.5)	76.5 (+ 13.9)	74.4 (+ 11.4)

模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている小中学校の割合

※「よくしている」「どちらかといえば、よくしている」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	93.6 (- 1.3)	93.8 (- 1.7)	94.2 (+ 1.4)	97.1 (+ 1.5)	99.0 (+ 2.3)	90.9 (+ 4.2)	92.9 (+ 5.4)	87.4 (+ 3.2)	92.7 (+ 2.7)	95.3 (+ 4.4)

学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行って小中学校の割合

※「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	84.7 (- 7.8)	85.5 (- 7.8)	86.5 (- 6.5)	87.1 (- 6.5)	89.0 (- 5.0)	72.5 (- 12.3)	78.7 (- 7.1)	70.6 (- 15.4)	77.8 (- 10.6)	79.8 (- 8.7)

個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している小学校教員の割合

※「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか			58.1 (- 24.9)	65.9 (- 19.6)	67.6 (- 19.6)					

校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している中学校教員の割合

※「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか								66.5 (- 11.3)	72.9 (- 8.6)	70.2 (- 12.7)

〈成果〉

- 「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか」との質問に、肯定的に回答した小学校は約8割、中学校は約7割であり、全国平均と比較すると、高い傾向である。
- 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、平成26年度以降、増加傾向にあり、平成30年度は、100%近くになっている。

〈課題〉

- 「学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、平成26年度以降、増加傾向にあるものの、全国平均と比較すると、差が見られる。
 - 「教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか」との質問に、肯定的に回答している小学校教員は、平成28年度以降、増加傾向にあるものの、平成30年度は約7割弱であり、全国平均との差が見られる。
 - 「教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか」との質問に、肯定的に回答している中学校教員は、平成30年度は約7割であり、全国平均より低い傾向にある。
- 校内研修を計画的に実施するなど、教員の資質・能力の向上を図る取組を工夫しましょう。

(3) 地域や社会と学校の連携・協働

今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.7 (+ 6.7)	74.4 (+ 7.5)	74.8 (+ 6.9)	71.3 (+ 8.7)	70.0 (+ 7.3)	46.4 (+ 2.9)	46.7 (+ 1.9)	48.7 (+ 3.5)	44.2 (+ 2.1)	46.4 (+ 0.8)

地域社会のボランティア活動に参加している児童生徒の割合（再掲：第2期群馬県教育振興基本計画【取組13(1)】）

※「参加したことがある」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。			40.6 (+ 4.4)	40.7 (+ 5.3)	39.4 (+ 3.3)			54.7 (+ 6.0)	54.9 (+ 5.2)	57.2 (+ 5.4)

地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして保護者や地域の人との協働による活動を行った小中学校の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、小学校〔60〕中学校〔57〕の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	94.8 (+ 12.1)	91.9 (+ 7.8)	94.9 (+ 8.0)	95.8 (+ 7.1)	71.4 (- 1.4)	78.8 (+ 11.6)	78.7 (+ 9.0)	83.2 (+ 9.1)	86.7 (+ 9.3)	49.4 (- 11.3)

前年度までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった児童生徒の割合

※「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
5年生（1，2年生）までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか				70.0 (- 0.2)	72.9 (- 1.5)				53.0 (- 0.7)	69.8 (+ 1.1)

前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行った小中学校の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか				83.2 (- 2.7)	82.7 (- 3.5)				81.3 (+ 2.9)	83.3 (+ 3.5)

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある小中学生の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか				43.3 (+ 1.0)	51.5 (+ 1.6)				34.2 (+ 0.8)	40.0 (+ 1.3)

前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行った教員の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか				68.4 (- 7.2)	74.9 (- 4.2)				67.5 (- 0.5)	75.0 (+ 3.4)

〈成果〉

- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」との質問に、肯定的に回答した小学生の割合は、平成30年度は、7割であり、全国平均と比較すると、小学校は+7.3で、高い傾向にある。
- 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。」との質問に、肯定的に回答している小中学生の割合は、平成28年度以降、大きな変化は見られないが、全国平均と比較すると、高い傾向にある。平成30年度は、小学生は約4割、中学生は6割近くになっている。

〈課題〉

■「学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか」との質問に、肯定的に回答している小学校の割合は約7割であり、中学校は約5割である。小学校と中学校との差は、大きい。

→全ての小中学校に設置されている学校支援センターの活用を充実させましょう。

■「5年生（1，2年生）までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか」との質問に、肯定的に回答している小中学生の割合は、平成30年度は約7割である。また、「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか」との質問に対し、肯定的に回答した小中学校の割合は、約8割である。児童生徒と小中学校との回答に差が見られる。

■「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との質問に、肯定的に回答している児童生徒は、小学生は約5割、中学生は約4割である。しかし、「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか」との質問に対し、小学校、中学校ともに約7割である。学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない児童生徒がいる。

→地域に関する学習を通して、地域に関心をもたせる指導の工夫をしましょう。

6 第2期教育振興基本計画に係る質問項目

()内は全国比 全国比+2以上 全国比-2以下

【取組1(2)】将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている教員の割合

※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
将来就きたい職業について考えさせる指導をした	73.0 (+ 1.0)	77.7 (+ 5.3)	77.0 (+ 2.4)	78.7 (+ 3.0)	83.9 (+ 0.6)	96.6 (+ 2.4)	97.6 (+ 1.2)	98.2 (+ 1.1)	99.4 (+ 1.9)	98.8 (+ 0.2)

【取組9(1)】家庭学習の時間が1日当たり平均1時間以上の児童生徒の割合

※「3時間以上」「2～3時間」「1～2時間」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどのくらい勉強しますか	62.7 (+ 0.7)	65.5 (+ 2.8)	65.3 (+ 2.8)	66.3 (+ 1.9)	69.7 (+ 3.5)	72.2 (+ 4.3)	72.9 (+ 3.9)	72.7 (+ 4.8)	72.7 (+ 3.1)	73.3 (+ 2.7)

【取組9(2)】毎朝、同じくらいの時間に起きている児童生徒の割合

※「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
毎日、同じくらいの時刻に起きている	91.8 (+ 0.9)	92.4 (+ 1.4)	92.1 (+ 1.3)	92.7 (+ 1.5)	90.1 (+ 1.3)	93.2 (+ 1.1)	93.0 (+ 0.9)	93.5 (+ 1.2)	93.1 (+ 0.7)	91.0 (+ 0.7)

【取組13(1)】地域社会のボランティア活動に参加している児童生徒の割合 (再掲)

※「参加したことがある」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。			40.6 (+ 4.4)	40.7 (+ 5.3)	39.4 (+ 3.3)			54.7 (+ 6.0)	54.9 (+ 5.2)	57.2 (+ 5.4)

【取組14(1)】【取組15(1)】「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
自分にはよいところがあると思う	79.2 (+ 3.1)	79.7 (+ 3.3)	79.4 (+ 3.1)	80.9 (+ 3.0)	87.1 (+ 3.1)	70.2 (+ 3.1)	71.4 (+ 3.3)	72.9 (+ 3.6)	73.4 (+ 2.7)	82.3 (+ 3.5)

【取組17(3)】「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	96.9 (+ 0.5)	96.7 (+ 0.5)	97.1 (+ 0.5)	96.8 (+ 0.7)	97.5 (+ 0.7)	94.0 (+ 0.6)	94.7 (+ 1.0)	94.6 (+ 1.0)	93.6 (+ 0.8)	96.7 (+ 1.2)

【取組20(3)】朝食を全く食べない児童生徒の割合

※「全くしていない」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
朝食を毎日食べている	0.7 (+ 0.0)	0.6 (- 0.3)	0.7 (- 0.2)	0.7 (- 0.2)	1.2 (- 0.2)	1.2 (- 0.6)	1.4 (- 0.5)	1.2 (- 0.6)	1.4 (- 0.5)	2.1 (- 0.5)

【取組39(1)】1日30分以上の読書をしている児童生徒の割合

※「2時間以上」「1～2時間」「30分～1時間」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
学校の授業以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらい の時間、読書を読みますか	41.3 (+ 3.1)	40.6 (+ 2.9)	39.2 (+ 2.7)	39.3 (+ 2.8)	44.5 (+ 3.4)	34.8 (+ 3.4)	34.5 (+ 3.9)	31.5 (+ 3.3)	32.5 (+ 3.3)	34.4 (+ 3.5)

【取組14(2)】「困っている人がいたら進んで助けている」と回答した児童生徒の割合 (H30年度は、調査項目から削除された)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
人が困っていたら、進んで 助けていますか			86.9 (+ 2.3)	87.3 (+ 2.0)				86.5 (+ 2.7)	85.8 (+ 1.4)	

【取組22(2)】「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う」と回答した児童生徒の割合 (H30年度は、調査項目から削除された)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

設 問	小学校					中学校				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思う	85.7 (+ 0.8)	85.1 (- 0.1)	83.4 (±0)	84.1 (- 0.4)		80.0 (+ 4.7)	80.9 (+ 2.7)	80.9 (+ 3.1)	83.9 (+ 2.1)	